

第 3 期 礼 文 町 人 口 ビ ジ ョ ン

令 和 7 年 3 月

礼 文 町

礼文町人口ビジョン

1. 礼文町の人口の現状分析	1
1-1. 人口動向分析	1
1-1-1. 総人口の推移	1
1-1-2. 年齢3区分別人口の推移	2
1-1-3. 人口ピラミッドの推移	3
1-1-4. 自然増減の推移	4
1-1-5. 社会増減の推移	5
1-1-6. 総人口に与えてきた自然増減・社会増減の影響	6
1-1-7. 人口の変化、移動	7
1-1-8. 雇用や就労等の推移	13
1-2. 将来人口の推計と分析	18
2. 礼文町の人口の将来展望	26
2-1. 将来展望の基礎となる地域住民の意向	26
2-2. 目指すべき将来の方向	27
2-3. 人口の将来展望	28

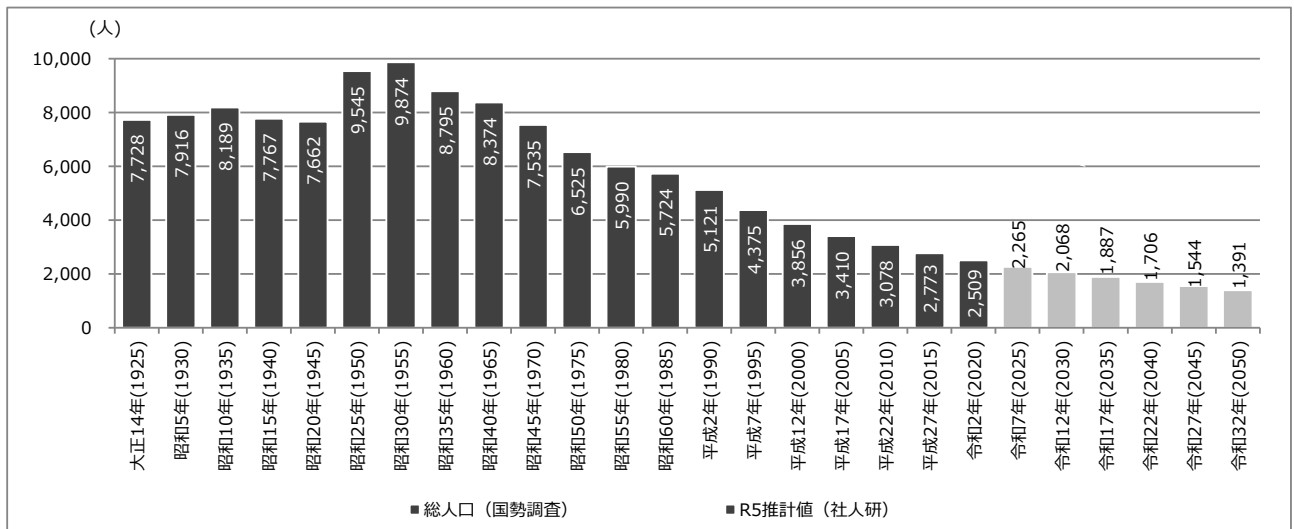
1. 礼文町の人口の現状分析

1-1. 人口動向分析

1-1-1. 総人口の推移

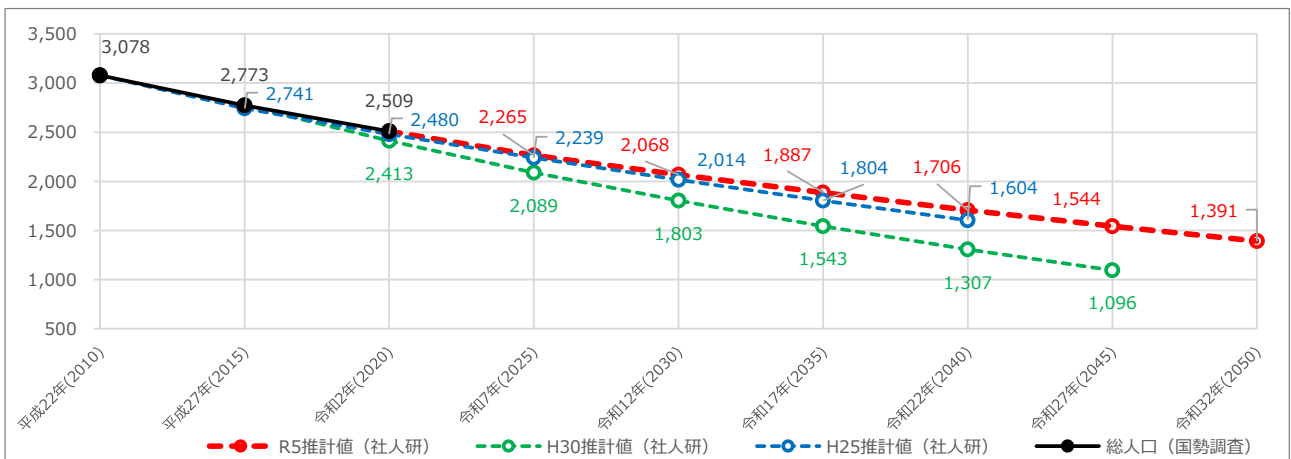
礼文町の人口は、昭和 30 (1955) 年の 9,874 人をピークに減少が続き、令和 2 (2020) 年に行われた国勢調査では、2,509 人であった。

国立社会保障・人口問題研究所 (以下、「社人研」) が令和 5 (2023) 年 12 月に公表した推計によると、令和 12 (2030) 年には 2,068 人、令和 32 (2050) 年には 1,391 人になると推計されている。平成 30(2018) 年の推計値に比べ、やや緩やかな減少結果が示されている。



資料：令和 2(2020)年まで-「国勢調査」(総務省統計局)
令和 7(2025)年以降-「日本の地域別将来推計人口 (令和 5(2023)年 12 月公表)」(社人研)

図 礼文町の総人口の推移と将来推計



資料：総人口-「国勢調査」(総務省統計局)
H25(2013)年 推計値 (社人研) -「日本の地域別将来推計人口 (平成 25(2013) 年 3 月公表)」(社人研)
H30(2018)年 推計値 (社人研) -「日本の地域別将来推計人口 (平成 30(2018) 年 3 月公表)」(社人研)
R2(2020)年 推計値 (社人研) -「日本の地域別将来推計人口 (令和 5(2023) 年 12 月公表)」(社人研)

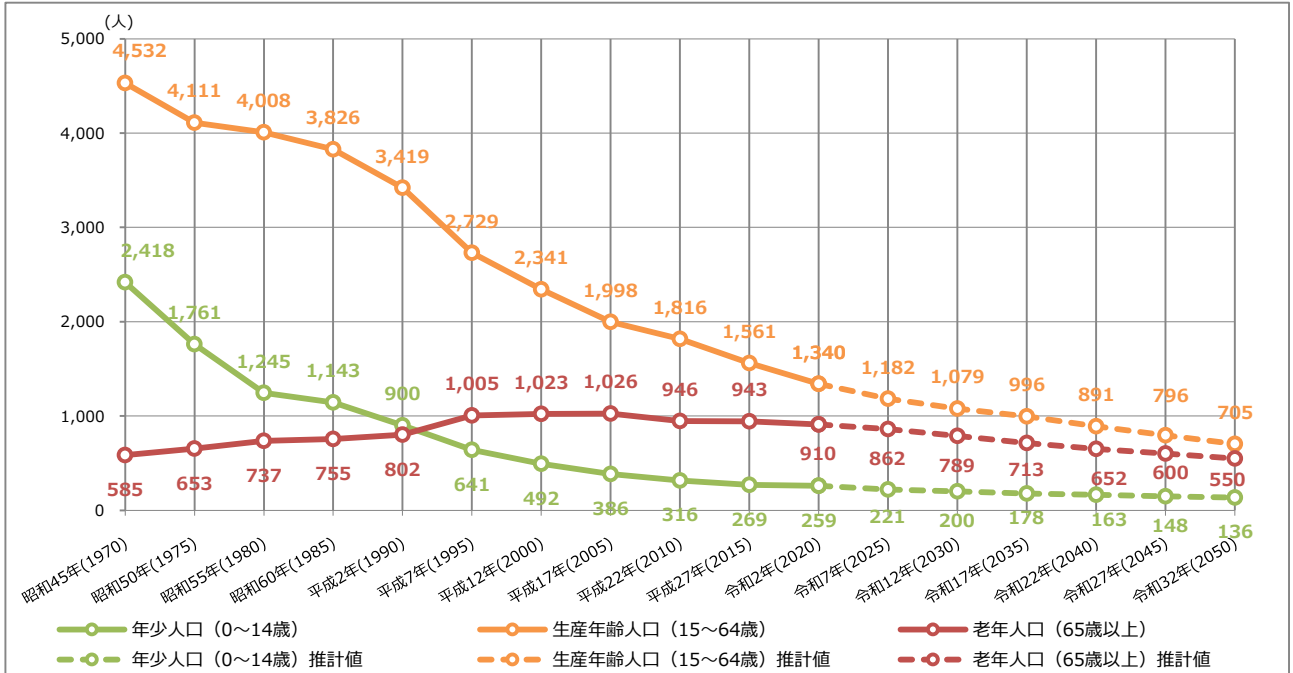
図 礼文町の将来人口推計結果の比較

1-1-2. 年齢3区分別人口の推移

礼文町の年齢3区分別人口は、15～64歳の生産年齢人口、及び0～14歳の年少人口において昭和45(1970)年以降減少が続いている。

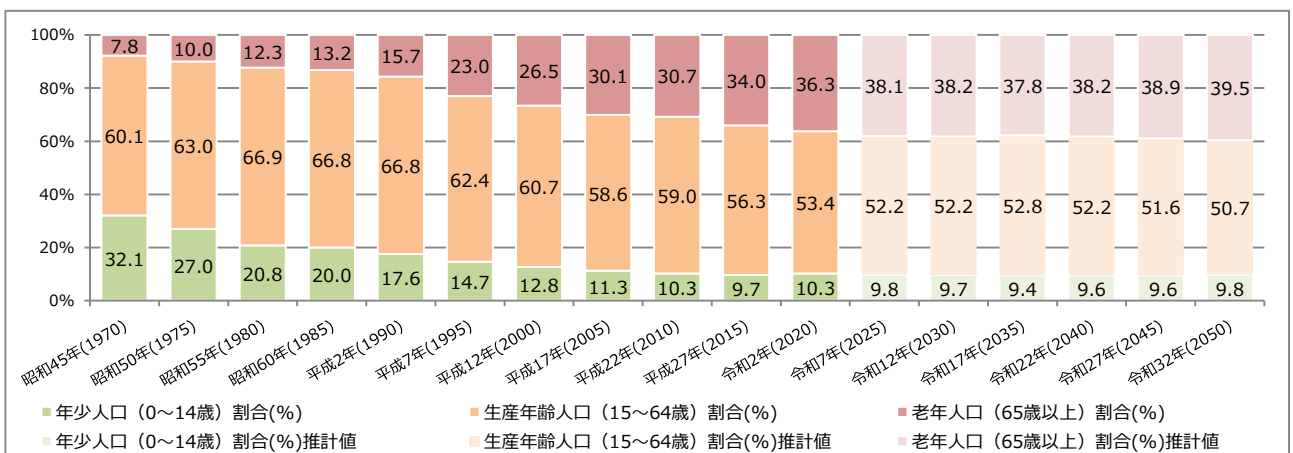
65歳以上の老年人口は、平成7(1995)年に14歳以下の年少人口を上回り微増であったが、平成22(2010)年に減少に転じている。

15～64歳の人口比率は減少が続いており、令和2(2020)年では53%となっている。



資料：令和2(2020)年まで－「国勢調査」(総務省統計局)
令和7(2025)年以降－「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年12月公表)」(社人研)

図 礼文町の年齢3区分別人口の推移と将来推計

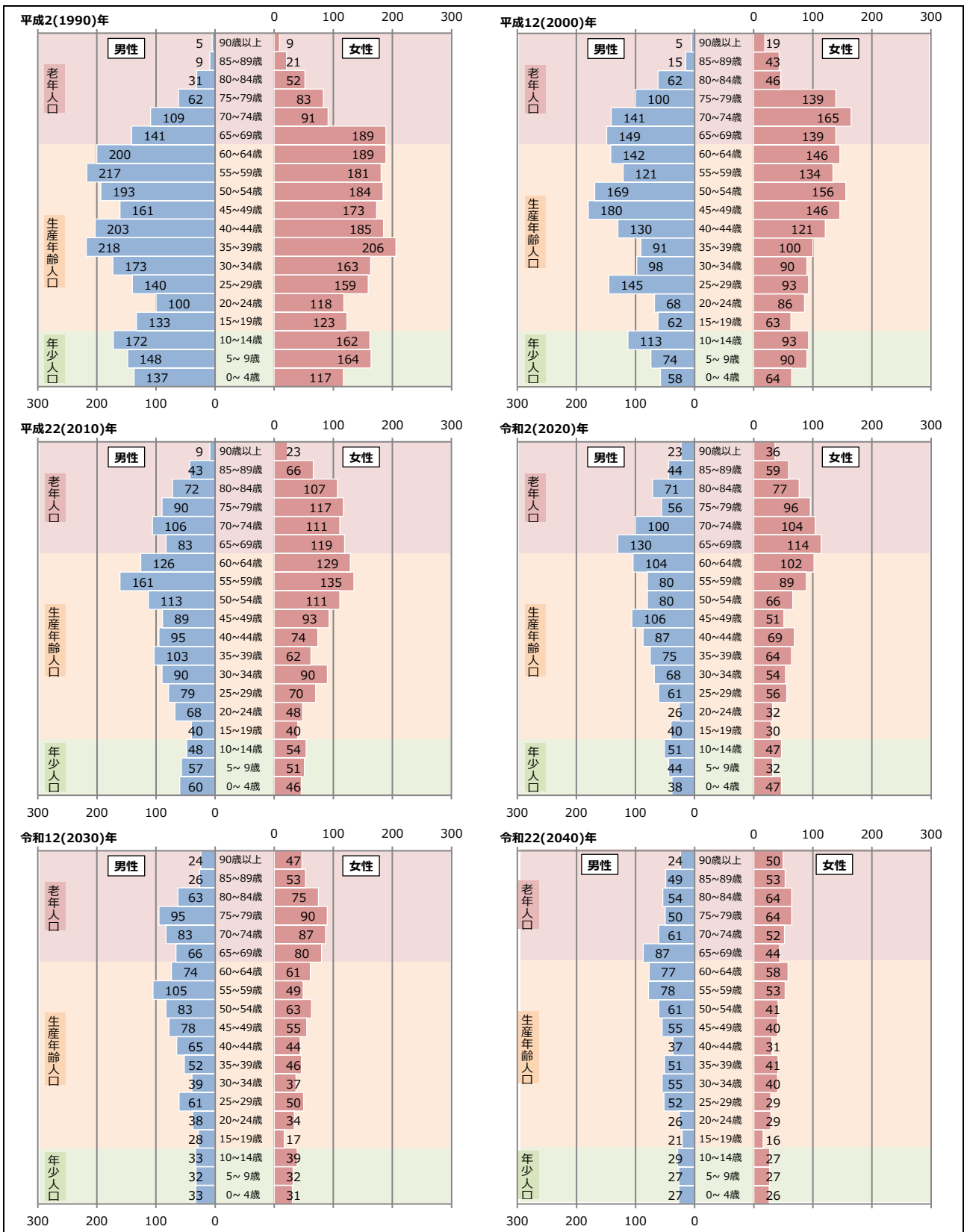


資料：令和2(2020)年まで－「国勢調査」(総務省統計局)
令和7(2025)年以降－「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年12月公表)」(社人研)

図 礼文町の年齢3区分別人口割合の推移と将来推計

1-1-3. 人口ピラミッドの推移

礼文町の人口ピラミッドは、平成2(1990)年では、14歳以下の年少人口及び15~64歳の生産年齢人口が多く65歳以上の老年人口が少なかったが、直近の令和2(2020)年では65歳上の人口が多いつぼ型となっている。



資料：令和2(2020)年まで-「国勢調査」(総務省統計局)
 令和7(2025)年以降-「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年12月公表)」(社人研)

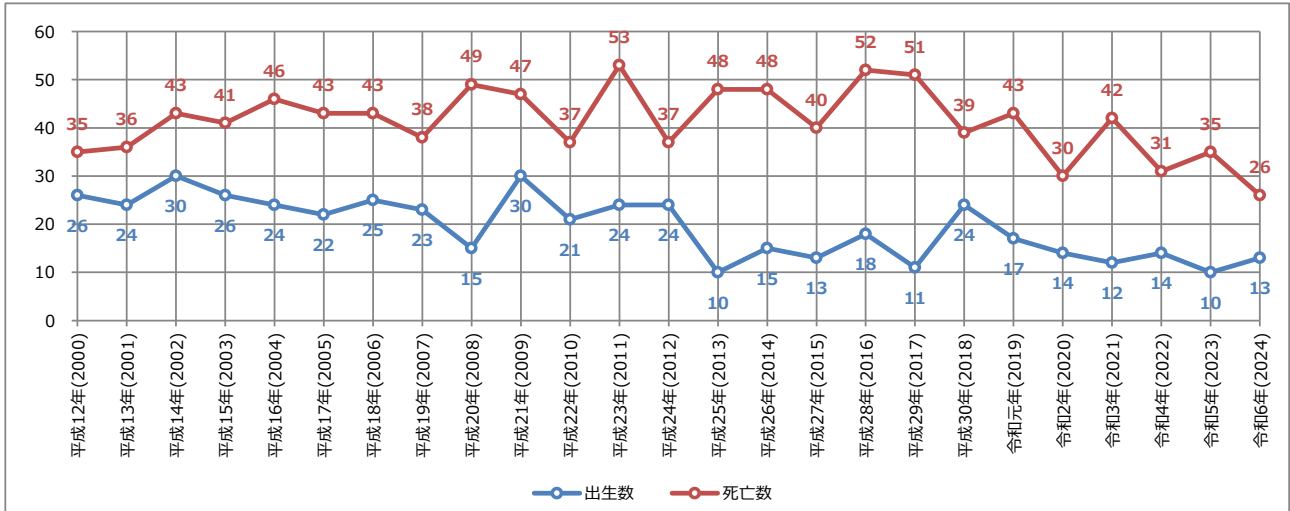
図 礼文町の人口ピラミッドの推移

1-1-4. 自然増減の推移

(1) 出生・死亡数の推移

礼文町の自然増減（出生・死亡数）は、死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。

平成12（2000）年以降の長期的な傾向として、出生数は減少、死亡数は横ばいから減少の傾向にある。

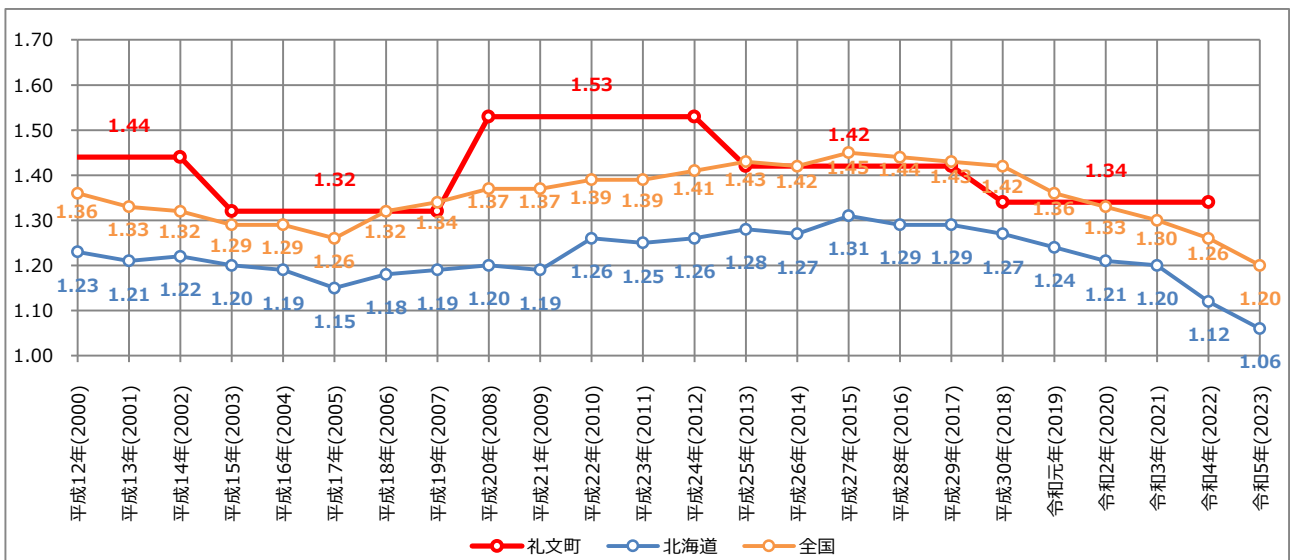


資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」（総務省）

図 礼文町の出生・死亡数の推移

(2) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率は、全国的に減少傾向にあり、礼文町も北海道の数値より高いものの、平成24(2012)年以降、減少傾向にある。直近の合計特殊出生率は1.34となっている。



資料：北海道・全国-「人口動態調査」（厚生労働省）／礼文町-「人口動態調査」（厚生労働省）

図 合計特殊出生率の推移

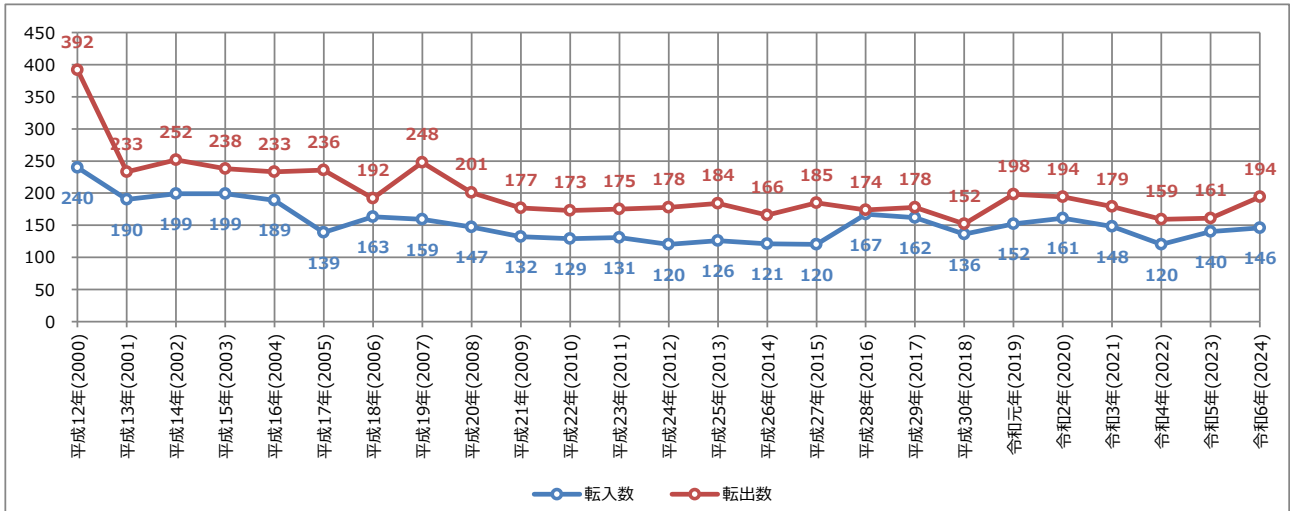
合計特殊出生率

- 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。
- 人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率が人口置換水準であり、『人口統計資料集 2019』（社人研）によると、人口置換水準は、2001年から2016年は2.07で推移し、直近2017年は2.06となっている。

1-1-5. 社会増減の推移

礼文町の社会増減は、転出超過（社会減）が続いている。

転入数、転出数ともに、平成12(2000)年が最も多く、それ以降、緩やかな減少傾向にあったが、令和2(2020)年以降は転入数が120~161人、転出数は159~194人と、年によって30~40人の変動がある。

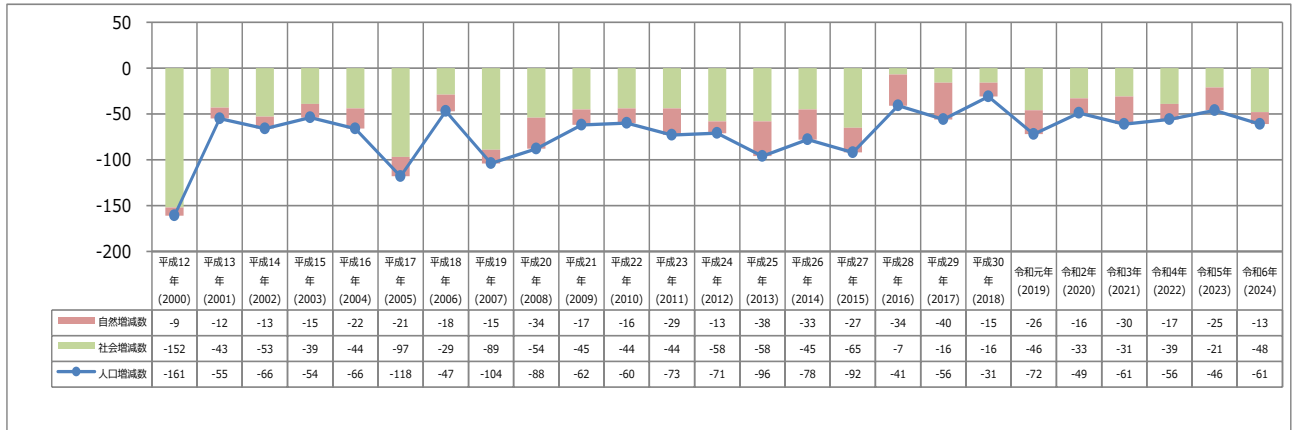


資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」（総務省）

図 礼文町の転入・転出数の推移

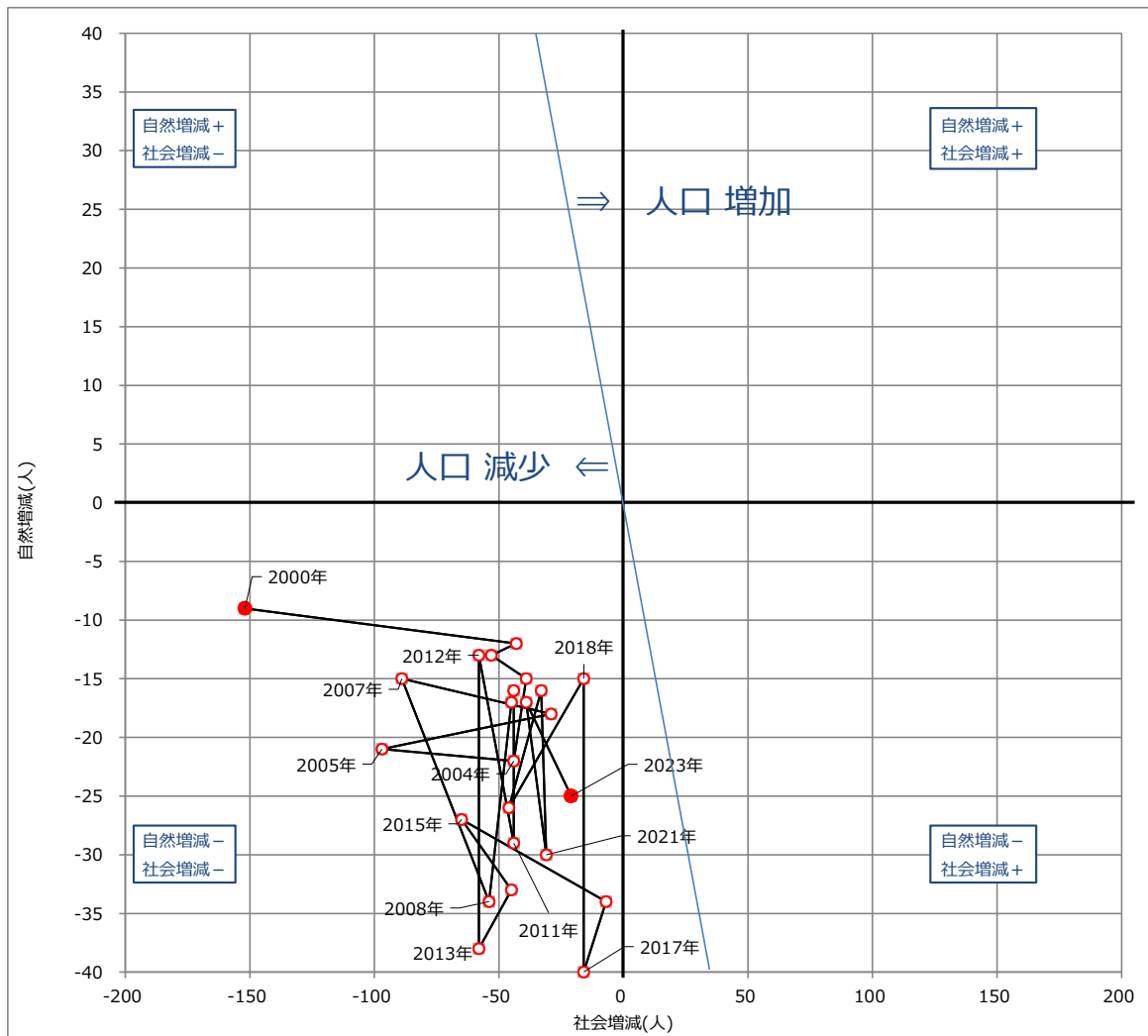
1-1-6. 総人口に与えてきた自然増減・社会増減の影響

自然減・社会減が続いているが、減少数は小さくなってきており、相対的に自然減による影響が大きくなってきている。令和2(2020)年以降は、自然減、社会減を合わせて毎年50人前後の減少が続いている。



資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」(総務省)

図 礼文町の自然増減・社会増減の推移



資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」(総務省)

図 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響

1-1-7. 人口の変化、移動

(1) 男女別・年齢階級別の人口変化の状況

男女とも、10～14歳から15～19歳における人口が減少しており、高校進学にともなう町外への転出の影響と考えられる。

また、男女とも、20～24歳から25～29歳において人口が増加し、一方25～29歳から30～34歳では人口が減少している。これらは、就学期の終了、就職転職、結婚等による転入、転出の影響と考えられる。

65歳以上の人口減少については、転出、死亡の両方の影響が考えられる。

表 礼文町の年齢階級別人口の変化率

年齢	平成27年(2015)				令和2年(2020)				変化率*		
	総数(人)	男性(人)	女性(人)	構成比	総数(人)	男性(人)	女性(人)	構成比	総数	男性	女性
総数	2,773	1,398	1,375	100.0%	2,509	1,284	1,225	100.0%	>1.1は赤字、<0.9は青字		
0～4歳	83	48	35	3.0%	85	38	47	3.4%	0.916	0.917	0.914
5～9歳	93	48	45	3.4%	76	44	32	3.0%	1.054	1.063	1.044
10～14歳	93	52	41	3.4%	98	51	47	3.9%	0.753	0.769	0.732
15～19歳	60	32	28	2.2%	70	40	30	2.8%	0.967	0.813	1.143
20～24歳	80	38	42	2.9%	58	26	32	2.3%	1.463	1.605	1.333
25～29歳	137	76	61	4.9%	117	61	56	4.7%	0.891	0.895	0.885
30～34歳	136	84	52	4.9%	122	68	54	4.9%	1.022	0.893	1.231
35～39歳	149	74	75	5.4%	139	75	64	5.5%	1.047	1.176	0.920
40～44歳	166	108	58	6.0%	156	87	69	6.2%	0.946	0.981	0.879
45～49歳	163	87	76	5.9%	157	106	51	6.3%	0.896	0.920	0.868
50～54歳	174	84	90	6.3%	146	80	66	5.8%	0.971	0.952	0.989
55～59歳	225	115	110	8.1%	169	80	89	6.7%	0.916	0.904	0.927
60～64歳	271	145	126	9.8%	206	104	102	8.2%	0.900	0.897	0.905
65～69歳	235	114	121	8.5%	244	130	114	9.7%	0.868	0.877	0.860
70～74歳	181	75	106	6.5%	204	100	104	8.1%	0.840	0.747	0.906
75～79歳	189	89	100	6.8%	152	56	96	6.1%	0.783	0.798	0.770
80～84歳	152	63	89	5.5%	148	71	77	5.9%	0.678	0.698	0.663
85～89歳	118	44	74	4.3%	103	44	59	4.1%	0.500	0.523	0.486
90歳以上	68	22	46	2.5%	59	23	36	2.4%	>1.1は赤字、<0.9は青色		
0～14歳	269	148	121	9.7%	259	133	126	10.3%			
15～64歳	1,561	843	718	56.3%	1,340	727	613	53.4%			
65歳以上	943	407	536	34.0%	910	424	486	36.3%			
75歳以上	527	218	309	19.0%	462	194	268	18.4%			

* 変化率：年齢（5歳階級）別の人口の5年後の変化率

例1) 平成27年に10～14歳の総数は93人 → 令和2年に15～19歳の総数は70人

[変化率] = 70 / 93 ≒ 0.753

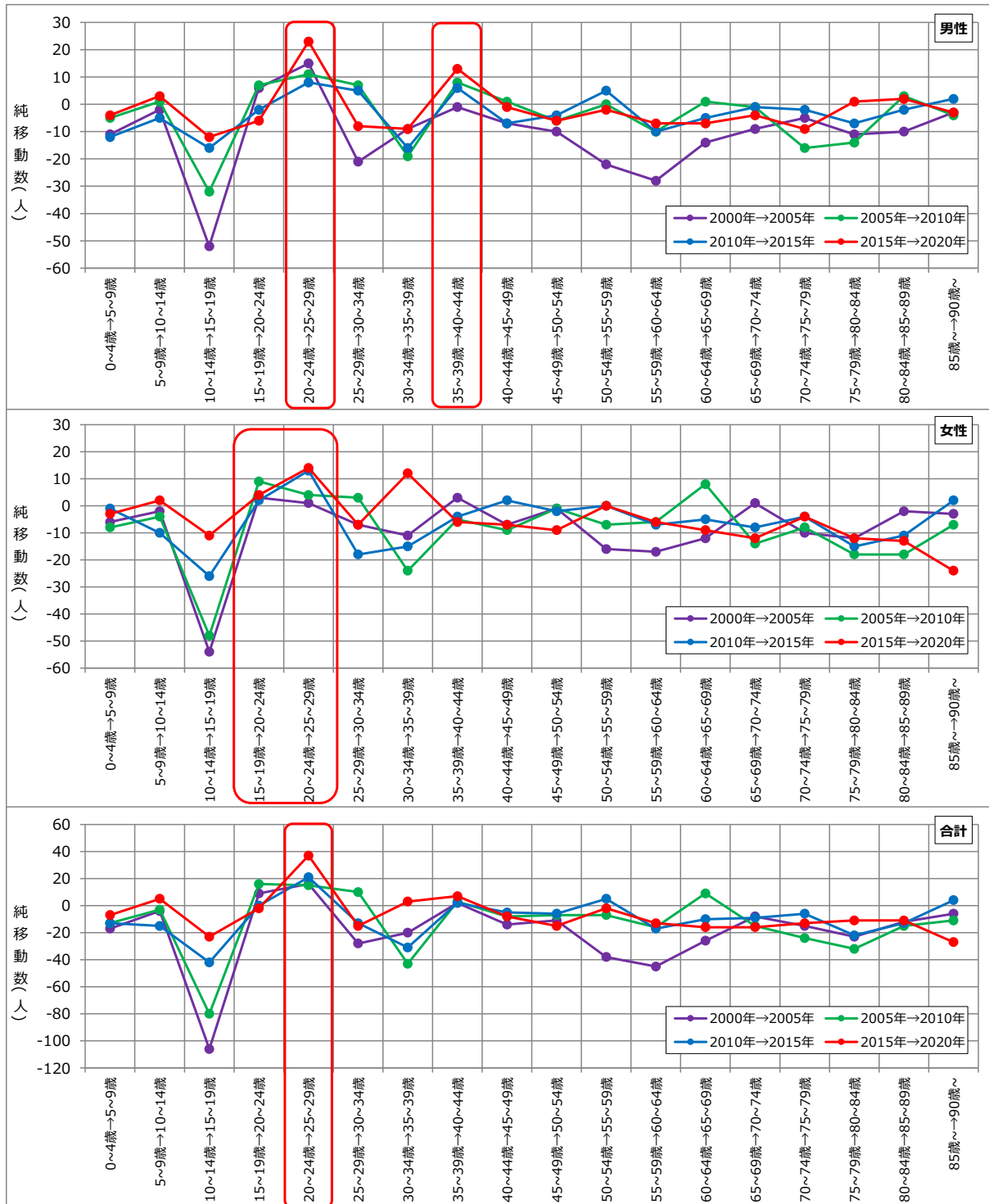
例2) 平成27年に15～19歳の総数は60人 → 令和2年に20～24歳の総数は58人

[変化率] = 58 / 60 = 0.967

資料：「国勢調査」（総務省統計局）

2000年以降の過去20年間の年齢階級別の純移動数の推移をみると、10～14歳から15～19歳の転出超過が少なくなっているが、これは少子化の影響と考えられる。

男女とも、20～24歳から25～29歳に転入超過となり、その後男女とも転出超過となる。男性では35～39歳から40～44歳、女性では15～19歳から20～24歳において転入超過となっている。



資料：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成データ
 ※純移動数：国勢調査の人口と各期間の生残率(「都道府県別生命表」)を用いて推定

図 年齢階級別純移動数の推移

(2) 転入者・転出者の住所地

令和2(2020)年の国勢調査における移動人口は、町外からの移動者のうち、道内が76%を占め、道外は17%であった。町外への移動では、道内では札幌市が最も多く33%を占め、次いで稚内市となっている。

表 令和2(2020)年における移動人口

令和2(2020)年居住地と移動人口(転入内訳)

礼文町人口	2015年時も町内同住所	町内移動者	町外からの移動者計(5年前の常住地)				不詳
			合計	道内	道外	国外	
2509人	1985人	143人	379人	290人	68人	21人	2人
			100.0%	76.5%	17.9%	5.5%	

令和2(2020)年居住地と移動人口(2015年時の常住地が礼文町のもの:転出内訳)

道内在住者 礼文町除く	札幌市	宗谷管内	上川管内	石狩管内	胆振管内	その他
285人 (100%)	94人(33%)	90人(31%) うち稚内市 60人ほか	22人(7%) うち旭川市ほか	15人(5%) うち千歳市ほか	9人(3%)	55人(19%) 渡島・後志・ 空知・林-ツク 各8人 その他 23人

資料:「国勢調査」(総務省統計局)

平成31(2019)年から令和5(2023)年までの住民基本台帳登録データによると、道内の市町村の転入者数、転出者数は以下のとおりである。直近3年間では、道内からの転入者は80人前後、転出者は120人前後で推移している。

表 平成31(2019)年から令和5(2023)年までの道内の転入、転出の状況

		平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
転入者	道内市町村	103	106	81	78	76
転出者	道内市町村	140	138	120	112	122
合計		-37	-32	-39	-34	-46

資料:住民基本台帳登録データ

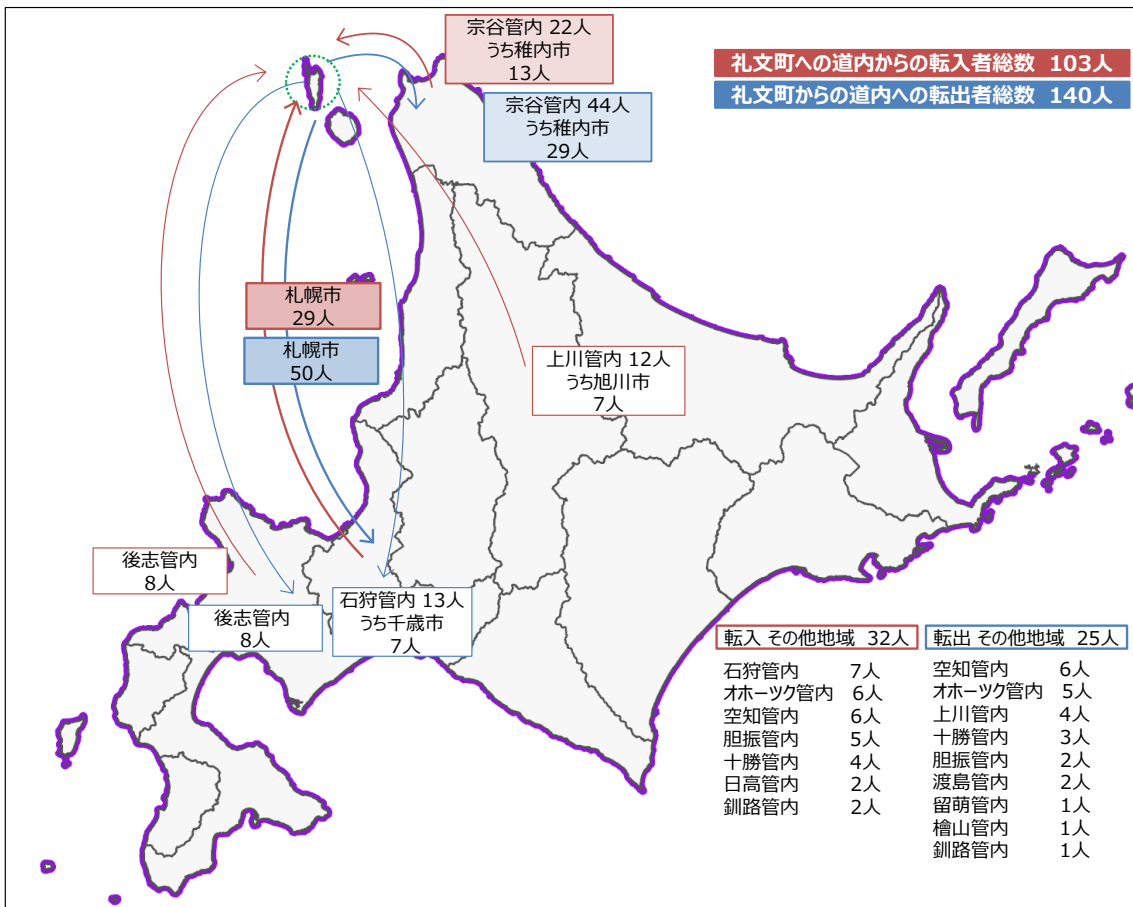
平成31(2019)年から令和5(2023)年までの道内の転入、転出の多い地域を次ページに示した。毎年、札幌市からの転入、転出が多く、次いで、宗谷管内、稚内市が多い。

表 平成 31 (2019) 年から令和 5 (2023) 年までの道内の転入、転出が多い地域

平成31(2019)年		令和2(2020)年				令和(2021)3年			
転入	転出	転入		転出		転入		転出	
札幌市	29人	札幌市	40人	札幌市	50人	札幌市	22人	札幌市	44人
宗谷管内	22人	宗谷管内	26人	宗谷管内	29人	宗谷管内	21人	宗谷管内	24人
うち稚内市	13人	うち稚内市	9人	うち稚内市	13人	うち稚内市	11人	石狩管内	11人
上川管内	12人	石狩管内	8人	上川管内	18人	上川管内	9人	十勝管内	10人
うち旭川市	7人	うち千歳市	8人	うち旭川市	10人	その他	29人	うち帯広市	9人
後志管内	8人	その他	24人	石狩管内	8人			上川管内	8人
その他	32人	その他	25人	その他	33人			後志管内	8人
								その他	15人
合計	103人	合計	106人	合計	138人	合計	81人	合計	105人

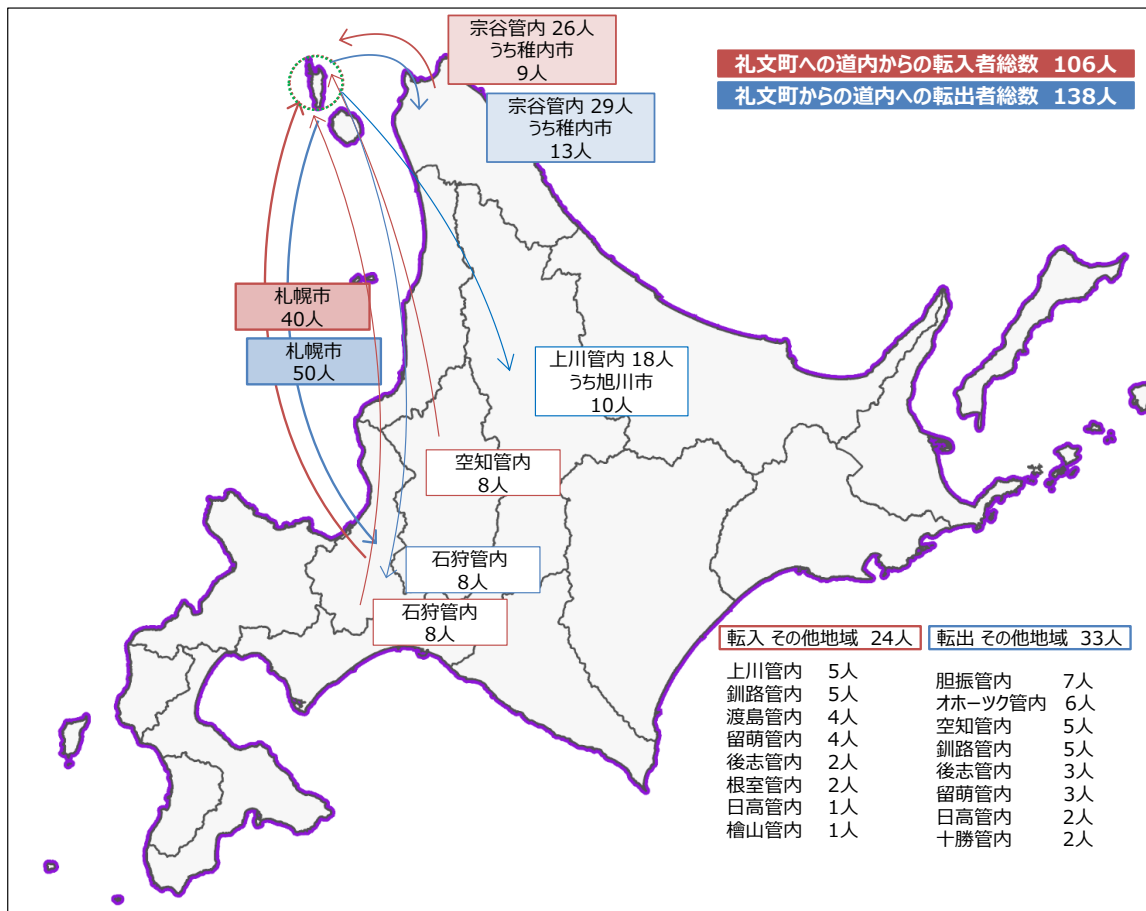
令和4(2022)年		令和5(2023)年	
転入	転出	転入	転出
札幌市	21人	札幌市	21人
宗谷管内	20人	宗谷管内	25人
うち稚内市	13人	うち稚内市	14人
上川管内	13人	林-ツク管内	8人
うち旭川市	9人	上川管内	8人
その他	24人	その他	14人
合計	78人	合計	76人
札幌市	36人	札幌市	42人
宗谷管内	31人	宗谷管内	29人
うち稚内市	15人	うち稚内市	19人
石狩管内	11人	石狩管内	10人
石狩管内	8人	上川管内	8人
その他	26人	その他	33人
合計	112人	合計	122人

資料：住民基本台帳登録データ



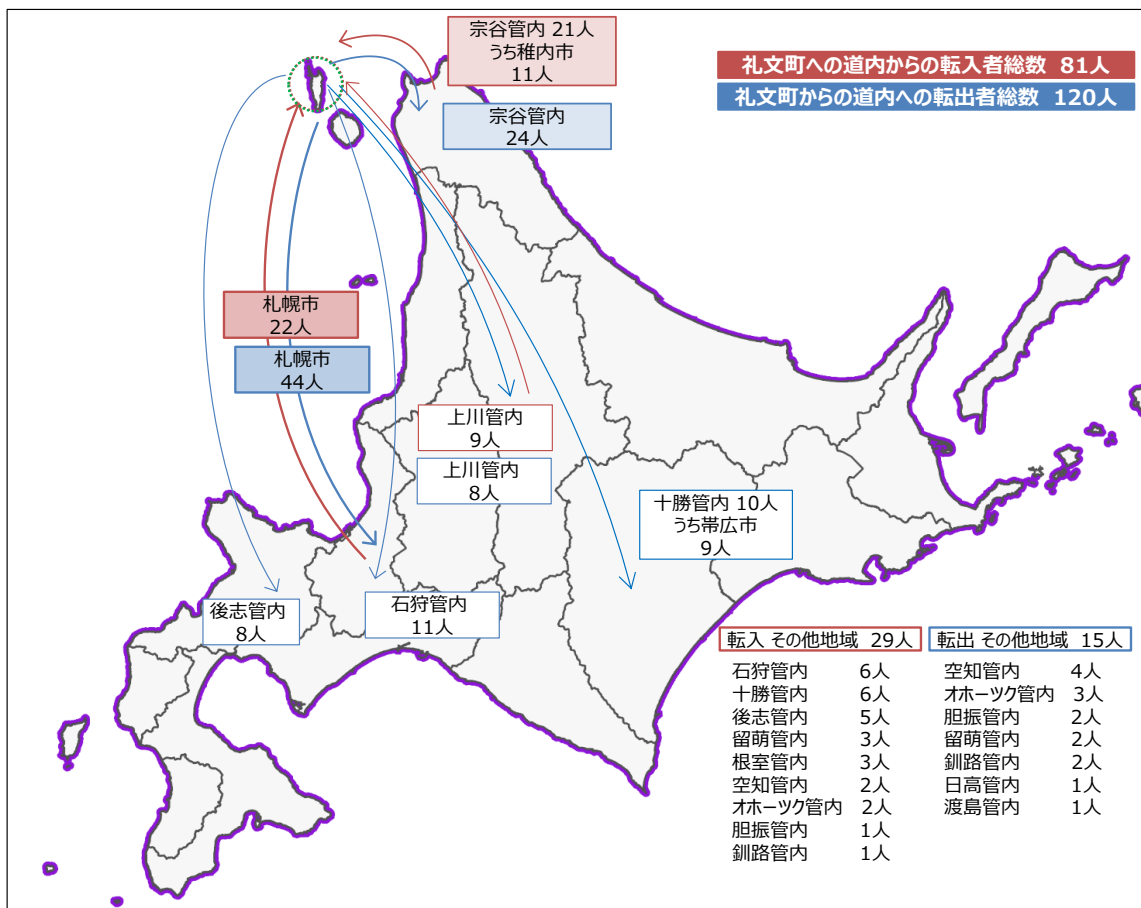
住民基本台帳登録データより作成（平成 31(2019)年）

図 平成 31 (2019) 年 礼文町への転入元、礼文町からの転出先の地域



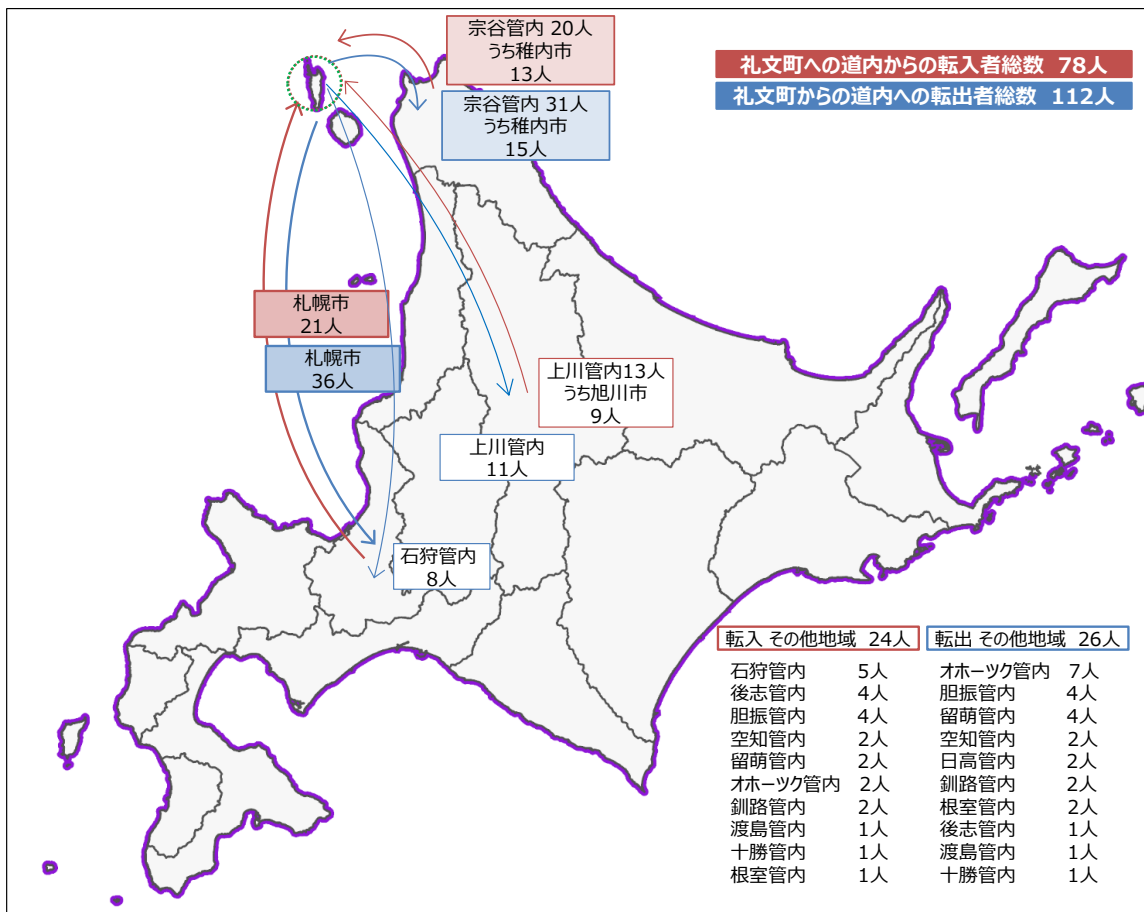
住民基本台帳登録のデータより作成（令和 2(2020)年）

図 令和 2(2020)年 礼文町への転入元、礼文町からの転出先の地域



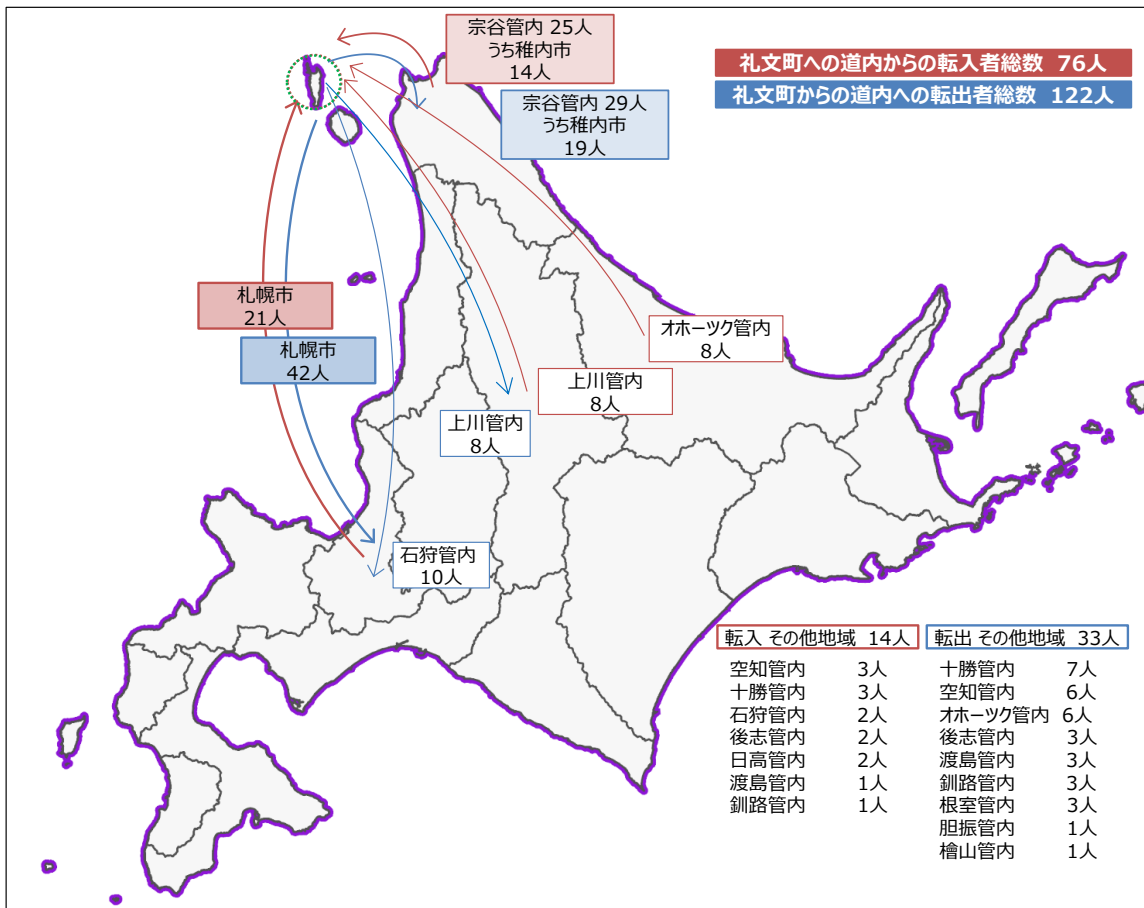
住民基本台帳登録のデータより作成（令和 3(2021)年）

図 令和 3(2021)年 礼文町への転入元、礼文町からの転出先の地域



住民基本台帳登録のデータより作成（令和4(2022)年）

図 令和4(2022)年 礼文町への転入元、礼文町からの転出先の地域



住民基本台帳登録のデータより作成（令和5(2023)年）

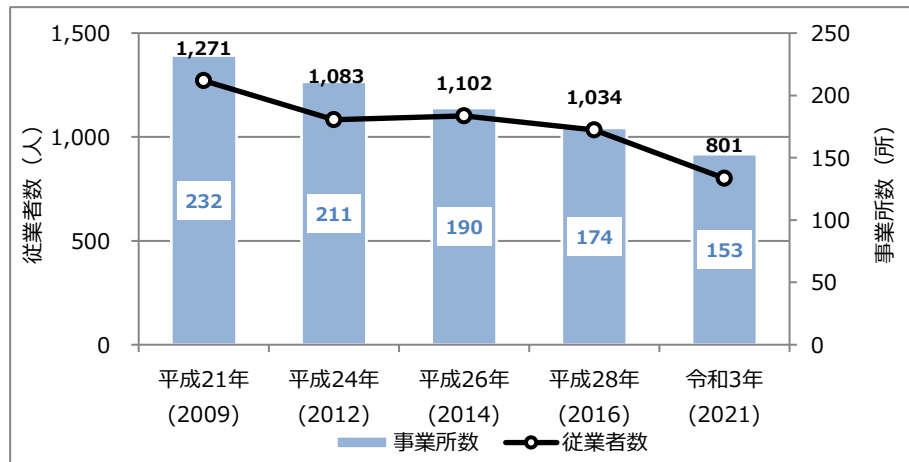
図 令和5(2023)年 礼文町への転入元、礼文町からの転出先の地域

1-1-8. 雇用や就労等の推移

(1) 従業者数と事業所数

事業所数は平成 21(2009) 年から令和 3(2021) 年までの 12 年間で 232 件から 153 件へ 34%、従業者数は 1271 人から 801 人へ 37%減少し、令和 3(2021) 年の事業所数、従業者数は平成 21(2009) 年のそれぞれ 66%、63%と約 6 割となっている。

北海道、稚内市の事業所数、従業者数の推移は礼文町同様に減少しているが、礼文町に比べて緩やかとなっている。



資料：「経済センサス-基礎調査」「経済センサス-活動調査」(総務省統計局)

図 礼文町の従業者数と事業所数の推移

表 従業者数と事業所数の推移(礼文町、北海道、稚内市)

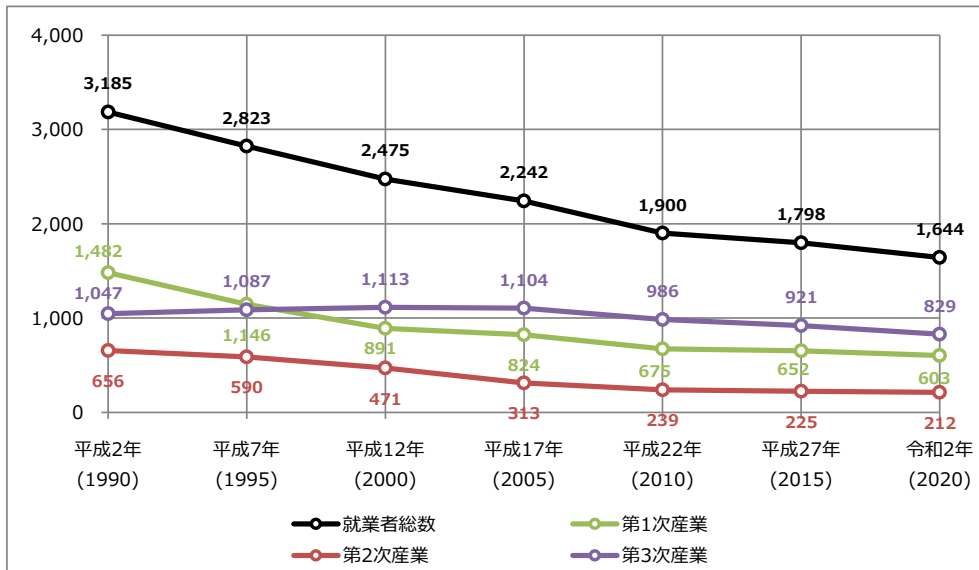
	平成21年 (2009)	平成24年 (2012)	平成26年 (2014)	平成28年 (2016)	令和3年 (2021)
礼文町					
事業所数 (所)	232	211	190	174	153
2009年を1とした比率	1.00	0.91	0.82	0.75	0.66
従業者数 (人)	1,271	1,083	1,102	1,034	801
2009年を1とした比率	1.00	0.85	0.87	0.81	0.63
北海道					
事業所数 (所)	247,760	231,549	233,037	224,718	216,124
2009年を1とした比率	1.00	0.93	0.94	0.91	0.87
従業者数 (人)	2,285,139	2,159,641	2,206,038	2,165,925	2,165,390
2009年を1とした比率	1.00	0.95	0.97	0.95	0.95
稚内市					
事業所数 (所)	2,190	2,063	2,001	1,936	1,719
2009年を1とした比率	1.00	0.94	0.91	0.88	0.78
従業者数 (人)	16,751	15,246	15,538	15,156	13,861
2009年を1とした比率	1.00	0.91	0.93	0.90	0.83

資料：「経済センサス-基礎調査」「経済センサス-活動調査」(総務省統計局)

(2) 産業別就業人口

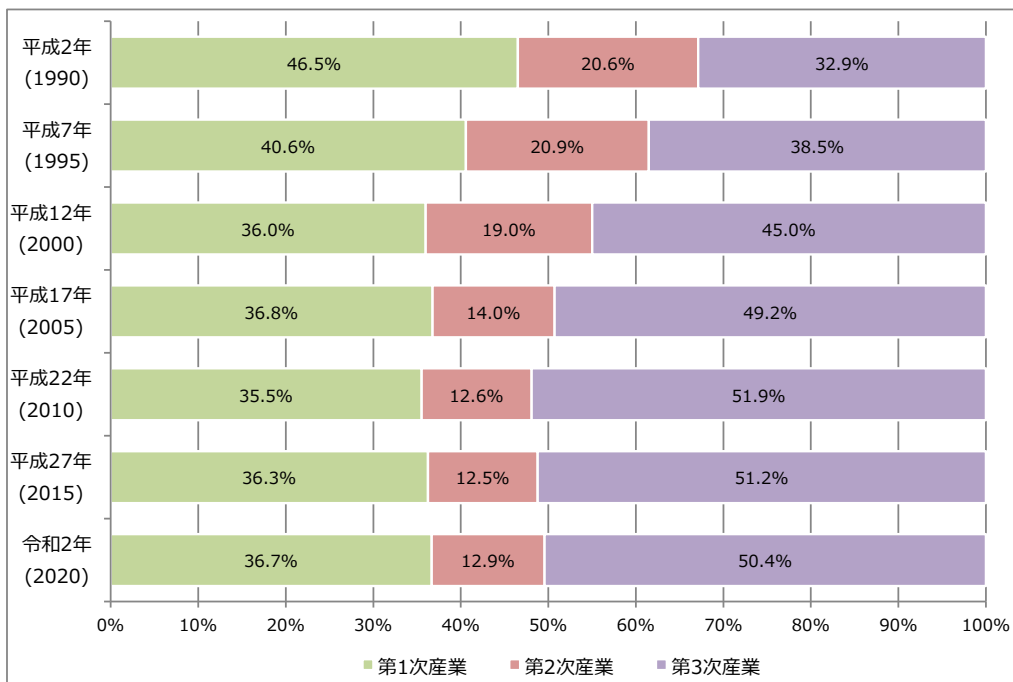
就業者総数は、平成2(1990)年から平成22(2010)年までの20年間で約1300人減少した(減少率40%)。令和2(2020)年までの10年間では約250人と減少(減少率13%)は鈍化しているが、就業人口数自体が少数となったためと考えられる。

就業者の内訳をみると、第1次産業就業者が35%前後、第2次が15%弱、第3次が50%前後の比率は、平成17(2005)年以降ほぼ変化は見られない。



資料：「国勢調査」(総務省統計局)

図 礼文町の産業別就業人口の推移



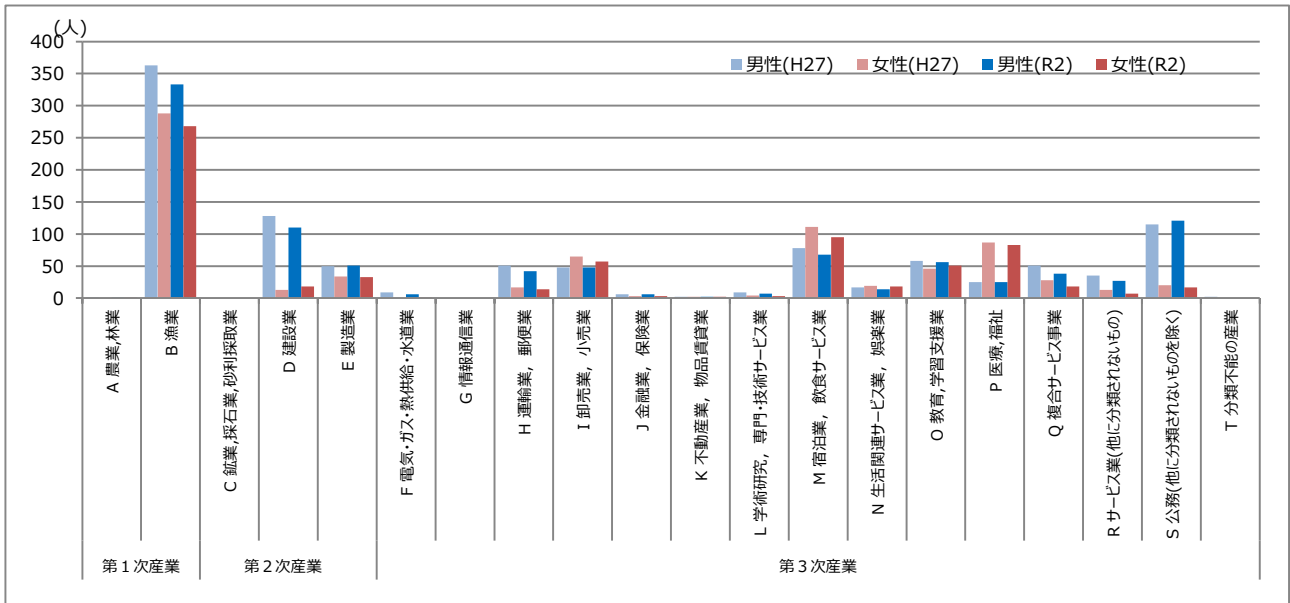
資料：「国勢調査」(総務省統計局)

図 礼文町の産業別就業人口割合の推移

(3) 男女別産業人口と特化係数

男女別産業人口をみると、男女とも、「漁業」の就業者数が多く、「漁業」に次いで、男性では、「公務」「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」と続く。女性では、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療、福祉」、「卸売業、小売業」の順に多い。令和2(2020)年では、「公務」を除き、いずれの産業も平成27(2015)年より就業者数が減少している。

全国の就業者比率と比較した特化係数では、漁業が突出している。郵便局や漁業協同組合等が含まれる「複合サービス事業」が全国と比較して就業者比率が高くなっている。



資料：「国勢調査」(総務省統計局)

礼文町の男女別産業人口(平成 27(2015)年と令和 2(2020)年)

表 礼文町の男女別の産業別就業比率と特化係数(令和 2(2020)年)

産業	就業者数		就業者数比率		特化係数		全国就業者数比率	
	男性	女性	男性(%)	女性(%)	男性	女性	男性(%)	女性(%)
第1次産業	1	1	0.1%	0.1%	0.0	0.1	3.5%	2.8%
B 漁業	333	268	34.9%	38.9%	110.3	313.1	0.3%	0.1%
第2次産業	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.0%
C 鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.0%
D 建設業	110	18	11.5%	2.6%	1.1	0.9	10.9%	2.8%
E 製造業	51	33	5.3%	4.8%	0.3	0.4	19.7%	10.9%
第3次産業	6	1	0.6%	0.1%	0.9	0.8	0.7%	0.2%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	4.4%	2.2%
G 情報通信業	-	-	-	-	-	-	4.4%	2.2%
H 運輸業、郵便業	42	14	4.4%	2.0%	0.6	0.8	7.7%	2.7%
I 卸売業、小売業	48	57	5.0%	8.3%	0.4	0.5	13.1%	17.9%
J 金融業、保険業	6	3	0.6%	0.4%	0.3	0.1	1.9%	3.0%
K 不動産業、物品賃貸業	2	2	0.2%	0.3%	0.1	0.1	2.3%	2.0%
L 学術研究、専門・技術サービス業	7	3	0.7%	0.4%	0.2	0.1	4.2%	3.0%
M 宿泊業、飲食サービス業	68	95	7.1%	13.8%	1.9	1.9	3.7%	7.4%
N 生活関連サービス業、娯楽業	14	18	1.5%	2.6%	0.6	0.6	2.5%	4.6%
O 教育、学習支援業	56	51	5.9%	7.4%	1.6	1.2	3.7%	6.4%
P 医療、福祉	25	83	2.6%	12.0%	0.4	0.5	5.9%	22.1%
Q 複合サービス事業	38	18	4.0%	2.6%	4.9	3.7	0.8%	0.7%
R サービス業(他に分類されないもの)	27	7	2.8%	1.0%	0.4	0.2	7.2%	5.9%
S 公務(他に分類されないものを除く)	121	17	12.7%	2.5%	2.8	1.0	4.5%	2.4%
T 分類不能の産業	-	-	-	-	-	-	2.9%	3.2%
第1次産業	334	269	35.0%	39.0%			3.8%	2.9%
第2次産業	161	51	16.9%	7.4%			30.7%	13.7%
第3次産業	460	369	48.2%	53.6%			62.6%	80.2%
就業者総数	955	689	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%

資料：「国勢調査」(総務省統計局)

特化係数：「地域における産業 AA の特化係数 = 地域における産業 AA の就業者比率 / 全国における産業 AA の就業者比率」。特化係数が 1 よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言える。

(4) 男女別・年齢階級別産業人口

主な産業別に、男女別・年齢階級別人口を平成27(2015)年及び令和2(2020)年を次ページに示した。主要な産業でみると、漁業では男性の60歳未満の比率が増加した。一方、男性の建設業の60歳未満比率は15%減少した。宿泊業、飲食サービス業では、男性も女性も60歳未満の比率が減少した。女性の医療、福祉の60歳未満比率は、9割前後と高い水準を維持したまま、変化はみられなかった。

表 礼文町の主要な産業別就業者数(平成27(2015)年と令和2(2020)年)

	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳未満		60~69歳	70歳以上	60歳以上	総数
漁業男性 (H27)	22人	34人	25人	44人	125人	34.4%	100人	138人	238人	363人
漁業男性 (R2)	20人	44人	41人	33人	138人	41.4%	81人	114人	195人	333人
漁業女性 (H27)	7人	26人	24人	53人	110人	38.2%	87人	91人	178人	288人
漁業女性 (R2)	9人	32人	31人	33人	105人	39.2%	73人	90人	163人	268人
宿泊業、飲食サービス業男性 (H27)	12人	15人	17人	14人	58人	74.4%	13人	7人	20人	78人
宿泊業、飲食サービス業男性 (R2)	4人	10人	13人	16人	43人	63.2%	17人	8人	25人	68人
宿泊業、飲食サービス業女性 (H27)	17人	11人	15人	25人	68人	61.3%	29人	14人	43人	111人
宿泊業、飲食サービス業女性 (R2)	8人	14人	10人	22人	54人	56.8%	28人	13人	41人	95人
建設業男性 (H27)	7	20	27	34	88人	68.8%	32	8	40人	128人
建設業男性 (R2)	7	16	21	15	59人	53.6%	35	16	51人	110人
医療、福祉女性 (H27)	14	18	19	28	79人	90.8%	6	2	8人	87人
医療、福祉女性 (R2)	12	17	19	26	74人	89.2%	9	0	9人	83人

資料：「国勢調査」(総務省統計局)

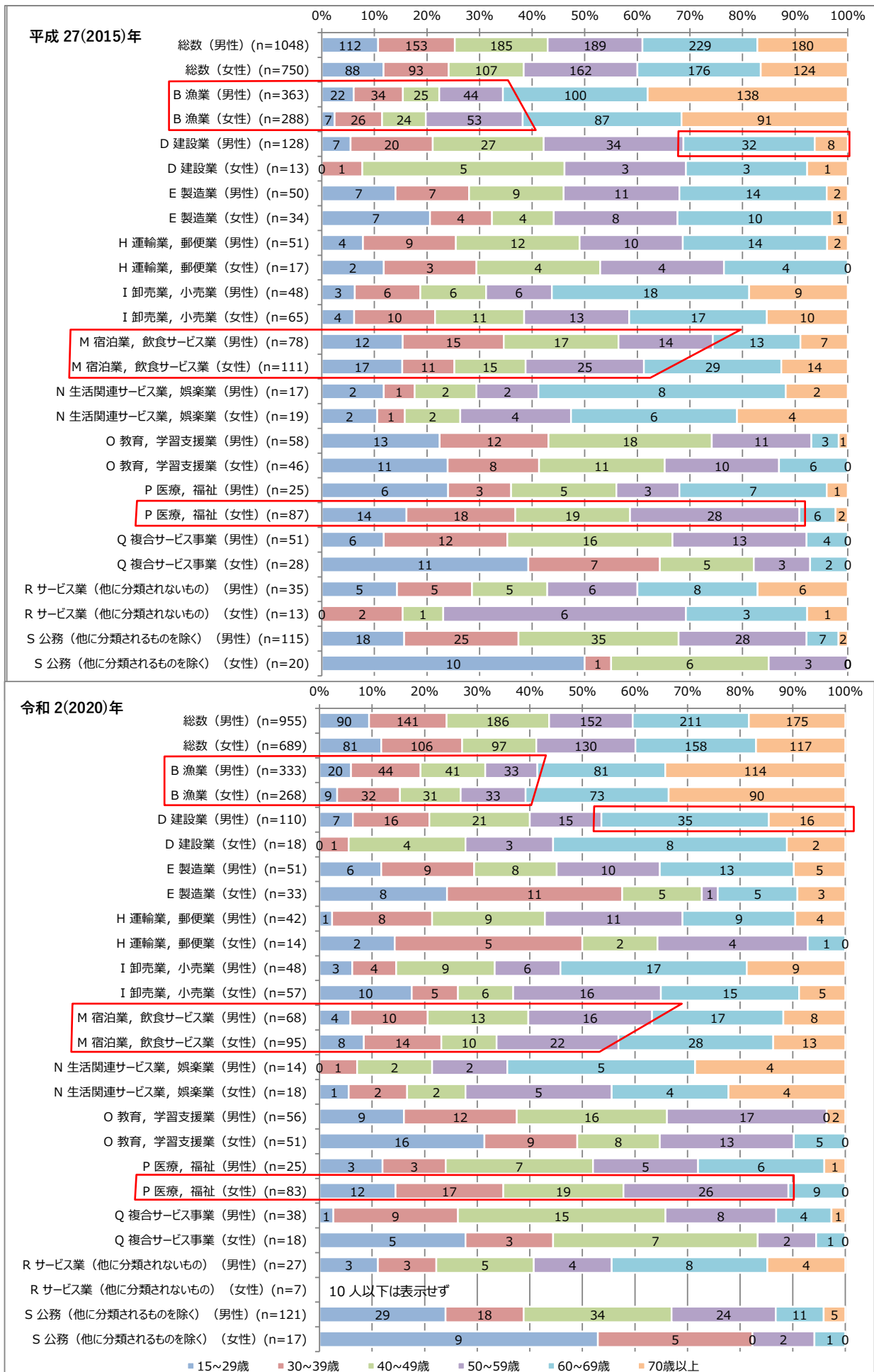
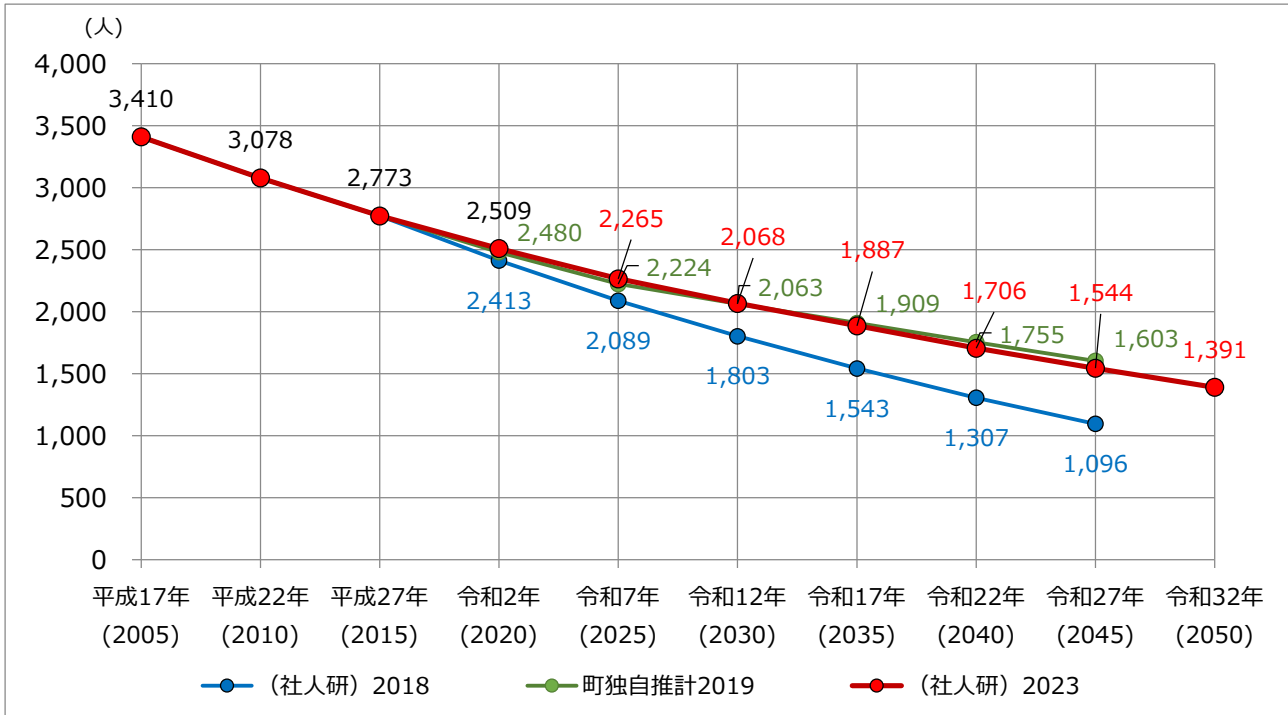


図 平成 27(2015)年と令和 2(2020)年 の礼文町の男女別年齢別産業人口

1-2. 将来人口の推計と分析

<社人研推計>

令和2(2020)年の人口を基準とした社人研による推計(2023年)では、令和32(2050)年の人口は1,391人と推計されている(再掲)。



社人研推計：令和2(2020)年から令和32(2050)年まで5年毎の30年間を以下の方法で推計。

ある年(ここでは令和2(2020)年)の男女・年齢別人口を基準として、人口動態率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算する「コーホート要因法」を用いて推計。

このコーホート要因法では、5歳以上の人口推計において「生残率」「移動率」の仮定値のほか、0-4歳人口の推計では「生残率」「移動率」に加えて「子ども女性比」および「0-4歳人口の性比」の仮定値が必要となる。厚生労働省の人口動態統計、市区町村別生命表、総務省の国勢調査結果等の各種資料をもとに仮定値が設定され、推定値が算出されている。

※子ども女性比：0-4歳人口と再生産年齢(2018年：15-49歳、2023年：20歳-44歳)の女性人口比であり、出生率の代替として用いられる指標。

図 礼文町の将来人口推計 (社人研推計)

表 社人研推計の仮定値等

(1) 基準人口	「国勢調査」による令和2(2020)年10月1日現在、市区町村別、男女、年齢(5歳階級)別人口(総人口)
(2) 将来の生残率	x-5~x-1歳の人口が5年後にx~x+4歳になるまでに死亡しない確率 将来の市区町村別、男女・年齢別生残率について「全国推計」にあわせた設定
(3) 将来の移動率	推計期間を2期間に分け、市区町村別、男女・年齢別の移動率の初期値を設定 礼文町は、2020-2025年、2030年以降、いずれも「国勢調査」2005→2010年、2010→2015年、2015→2020年の5年毎の3期間の平均的な人口移動傾向を将来に投影
(4) 将来の子ども女性比	将来の0~4歳人口の算出に、「0~4歳人口と再生産年齢(20~44歳)にある女性人口比」を用いた。子ども女性比は、出生率の代替指標として用いられる。
(5) 将来の0~4歳人口の性比	(4)により将来の0~4歳人口が推測されるが、「全国推計」により算出されている性比を一律に適用

<人口戦略会議※による分析結果>

人口戦略会議は、令和5(2023)年12月に公表された「日本の地域別将来推計人口」(社人研)に基づき、人口から見た全国の地方自治体の「持続可能性」について分析を行った。

「20～39歳の女性人口(以下、若年女性人口)」が減少しつづける限り、出生数は低下しつづけて、総人口の減少に歯止めがかからない。若年女性人口が2020年から2050年までの30年間で50%以上減少する自治体を「消滅可能性自治体」としている。移動傾向が一定程度続くとの仮定(移動仮定)のもとでの推計、及び封鎖人口(人口移動がなく自然増減のみの推計)とにより、若年女性人口の2020年から2050年までの減少率を、全国の自治体について以下の9つに分類した。

※人口戦略会議：人口減少に対していかに持続可能な社会をつくっていくべきかの意見交換を行う場として民間有志により設置された(議長：三村明夫、副議長：増田寛也)。本会議は2023年7月設置し、2025年6月までの2年間の活動予定。

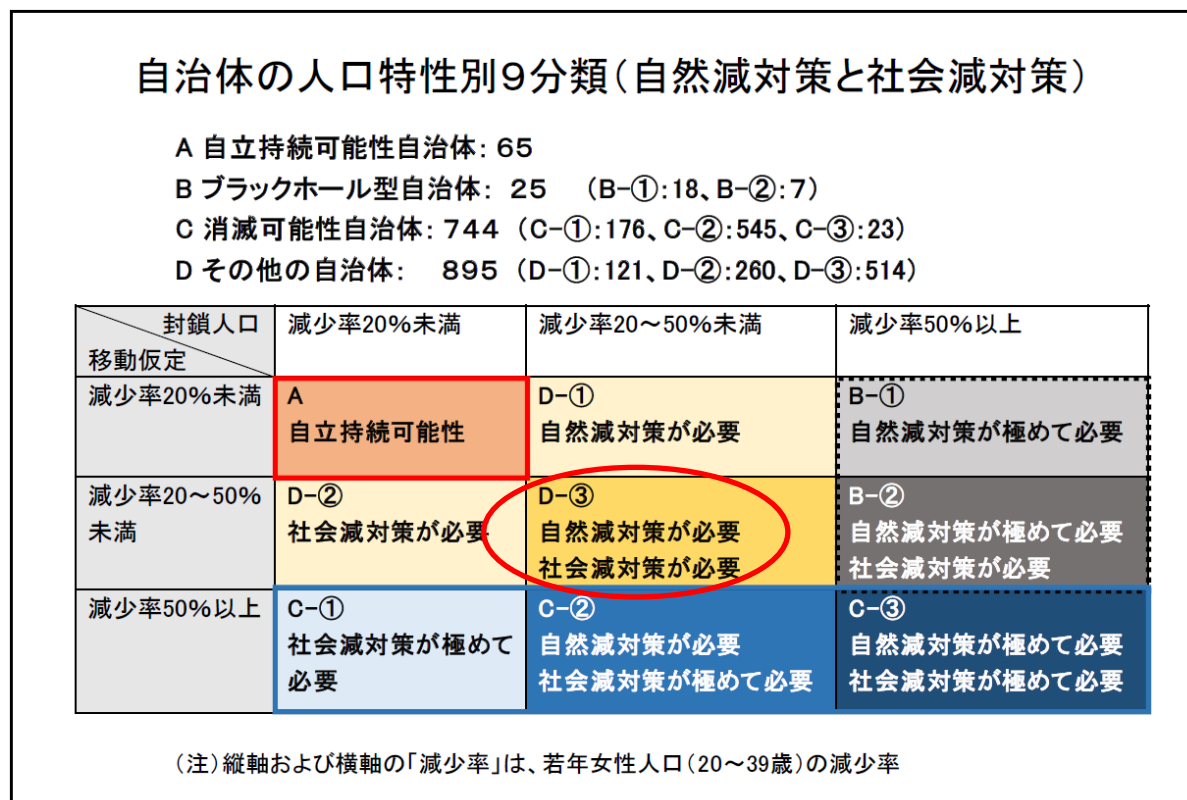


図 自治体の人口特性別9分類(自然減対策と社会減対策)

「令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート」(令和6年4月24日 人口戦略会議)より

人口戦略会議による分析結果(宗谷管内)を次ページに示した。

礼文町は、上記の分類では、「D-③ 自然減対策が必要 社会減対策が必要」に分類されている。

前回2014年分析結果(2010年国勢調査を基にした社人研推計に対する分析)との比較では、礼文町の若年女性人口の減少率が16.5%改善し、消滅可能性自治体から脱却した。

表 人口戦略会議による持続可能性分析結果リスト(宗谷管内抜粋)

自治体名	分析結果				2050年人口（移動想定）			2050年人口（封鎖人口）			2020年	
	9分類	前回比較 (消滅可能性)	前回比較 (増減率の分類)	前回比較 (増減率)	若年女性人口 減少率 (%)	若年女性 人口	総人口	若年女性人口 減少率 (%)	若年女性 人口	総人口	若年女性 人口	総人口
稚内市	C-②	γ-②	▼②	▼6.9	▼59.8	1,087	17,716	▼30.2	1,886	23,428	2,702	33,563
猿払村	D-③		△②	△5.5	▼36.4	210	1,958	▼34.5	216	2,259	330	2,611
浜頓別町	C-②	γ-②	▼②	▼7.7	▼65.1	91	1,605	▼39.8	157	2,103	261	3,448
中頓別町	C-①	γ-①	△①	△20.5	▼53.7	44	804	△0.0	95	1,073	95	1,637
枝幸町	C-②	γ-②	▼②	▼6.1	▼59.0	241	3,932	▼32.0	400	5,027	588	7,565
豊富町	C-②	γ-①	△①	△15.5	▼63.5	108	2,357	▼38.2	183	2,583	296	3,974
礼文町	D-③	α	△①	△16.5	▼49.0	105	1,391	▼29.1	146	1,703	206	2,509
利尻町	C-②	γ-①	△②	△3.7	▼56.8	60	1,016	▼23.7	106	1,310	139	2,004
利尻富士町	D-③	α	△①	△25.5	▼44.6	93	1,349	▼29.8	118	1,582	168	2,458

前回比較（消滅可能性）

α： 前回消滅可能性自治体で、今回脱却した自治体 239

β： 消滅可能性自治体に新たに該当した自治体（福島県の自治体を含む） 99

γ-①： 消滅可能性自治体に変わりはないが、若年女性人口減少率が改善 362

γ-②： 消滅可能性自治体に変わりはないが、若年女性人口減少率が悪化 283

3. 前回比較（若年女性人口減少率の増減）

今回（2020年→2050年）の若年女性人口減少率と、前回（2010年→2040年）の

若年女性人口減少率を比較

△①： 若年女性人口減少率が10%ポイント以上改善 455

△②： 若年女性人口減少率が10%ポイント未満改善 677

▼②： 若年女性人口減少率が10%ポイント未満悪化 455

▼①： 若年女性人口減少率が10%ポイント以上悪化 95

「全国1729自治体の持続可能性分析結果リスト」（令和6年4月24日 人口戦略会議）より抜粋

<将来人口の推計>

内閣府地方創生推進室が提供する「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート(令和6年6月版)」(以下、推計ツール)を使用して、コーホート要因法による将来人口推計を行った。

仮定値として、将来の合計特殊出生率、及び将来の純移動率を設定し、算出した。

【合計特殊出生率】

礼文町の合計特殊出生率は、令和2(2020)年、令和3(2021)年、令和4(2022)年と、1.34であった(前掲)。社人研推計では、合計特殊出生率について全国の出生率をもとに中位、高位、低位の3つを仮定している。礼文町の合計特殊出生率は中位と高位の間にある。合計特殊出生率は全国的に減少傾向にあることから、将来人口については、中位、高位の2種の仮定値を用いて推計した。

表 合計特殊出生率の推計

年次	中位	高位	低位
令和 2 (2020)	1.3298	1.3298	1.3298
3 (2021)	1.3048	1.4556	1.1665
4 (2022)	1.2480	1.3936	1.1136
5 (2023)	1.2251	1.3721	1.0891
6 (2024)	1.2681	1.4276	1.1206
7 (2025)	1.2713	1.4391	1.1165
8 (2026)	1.2759	1.4526	1.1137
9 (2027)	1.2859	1.4721	1.1158
10 (2028)	1.2973	1.4932	1.1193
11 (2029)	1.3069	1.5123	1.1216
12 (2030)	1.3152	1.5300	1.1228
13 (2031)	1.3223	1.5461	1.1233
14 (2032)	1.3277	1.5602	1.1227
15 (2033)	1.3307	1.5710	1.1205
16 (2034)	1.3326	1.5801	1.1181
17 (2035)	1.3336	1.5873	1.1154
18 (2036)	1.3339	1.5928	1.1127
19 (2037)	1.3338	1.5970	1.1103
20 (2038)	1.3338	1.6005	1.1085
21 (2039)	1.3338	1.6033	1.1073
22 (2040)	1.3341	1.6056	1.1067
23 (2041)	1.3347	1.6077	1.1067
24 (2042)	1.3354	1.6095	1.1070
25 (2043)	1.3364	1.6113	1.1076
26 (2044)	1.3375	1.6130	1.1085
27 (2045)	1.3388	1.6145	1.1097
28 (2046)	1.3401	1.6161	1.1110
29 (2047)	1.3415	1.6174	1.1124
30 (2048)	1.3429	1.6187	1.1140
31 (2049)	1.3442	1.6197	1.1155
32 (2050)	1.3453	1.6206	1.1169
33 (2051)	1.3464	1.6215	1.1181
34 (2052)	1.3473	1.6222	1.1190
35 (2053)	1.3479	1.6228	1.1198
36 (2054)	1.3485	1.6234	1.1203
37 (2055)	1.3490	1.6239	1.1207
38 (2056)	1.3493	1.6242	1.1211
39 (2057)	1.3497	1.6247	1.1213
40 (2058)	1.3500	1.6252	1.1214
41 (2059)	1.3503	1.6257	1.1215
42 (2060)	1.3506	1.6263	1.1216
43 (2061)	1.3510	1.6270	1.1218
44 (2062)	1.3515	1.6278	1.1220
45 (2063)	1.3520	1.6287	1.1222
46 (2064)	1.3526	1.6297	1.1226
47 (2065)	1.3533	1.6307	1.1230
48 (2066)	1.3541	1.6318	1.1235
49 (2067)	1.3549	1.6329	1.1241
50 (2068)	1.3557	1.6340	1.1247
51 (2069)	1.3565	1.6351	1.1253
52 (2070)	1.3573	1.6362	1.1259

資料：「日本の将来推計人口(令和5年推計)」 社人研

【純移動率】

社人研推計では、「国勢調査」2005→2010年、2010→2015年、2015→2020年の5年毎の3期間の平均的な人口移動傾向をもとに推計した仮定値を用いている。

実質的に社会増減がゼロの封鎖人口(人口移動がなく自然増減のみによる推計)、及び、社人研推計に準拠した推計のパターン1における純移動率を2030年まで転出超過を80%に、2030年以降の転出超過50%に縮小した条件設定とした。

【推計パターン】

将来人口の推計として、合計特殊出生率および純移動率を以下の赤枠内の条件に設定し、A～Dまでの4パターンで2060年までの推計を行った。

表 礼文町の将来人口推計の仮定条件

	年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
出生に関する 仮定値： 合計特殊出生率 ※2020年は実績値	社人研 2018	1.58	1.58	1.55	1.58	1.61	1.59	-	-	-
	町独自推計 2019	1.60	1.80	1.89	1.98	2.07	2.07	-	-	-
	社人研 2023 (パターン1)	-	1.54	1.58	1.62	1.63	1.64	1.64	1.64	1.64
	社人研仮定 中位	1.34	1.27	1.32	1.33	1.33	1.34	1.35	1.35	1.35
	社人研仮定 高位	1.34	1.44	1.53	1.59	1.61	1.61	1.62	1.62	1.63
移動に関する 仮定値： 純移動率の設定	社人研 2018	2010-15年の人口移動傾向を反映した初期値を設定することを原則とした。								
	町独自推計 2019	社人研 2018 の設定純移動率のうち、2020年、2025年は転出超過の年齢階級を0.7倍縮小し、2030年以降は0.3倍縮小して推計。								
	社人研 2023 (パターン1)	2005-2010年、2010-2015年、2015-2020年の3期間の平均的な人口移動を将来に投影した。								
	封鎖人口 仮定	移動率の仮定値を一律ゼロとした場合の推計 人口移動を除いた出生と死亡の自然増減のみによる人口変化を仮定								
	純移動率 縮小	パターン1の純移動率を、2025年、2030年は転出超過の年齢階級を0.8倍縮小し、2035年以降は0.5倍縮小して推計。								

人口ビジョンを策定するために国が提供している人口推計ツール(令和元年6月版、令和6年6月版)

出生に関する仮定値である「将来の合計特殊出生率」と、移動に関する仮定値である「将来の純移動率」等を独自に設定することで、コーホート要因法による将来人口推計を行うことができる。

この推計ツールにおいて、社人研の推計に準拠した条件設定がパターン1となっている。このツールでは、出生に関する仮定値を、将来の合計特殊出生率又は母の年齢階級別出生率を設定し、将来の子ども女性比を換算している。

表 推計パターンと設定条件

(A) 封鎖人口 出生中位	移動率の仮定値をゼロとして、合計特殊出生率を社人研仮定の中位に設定
(B) 封鎖人口 出生高位	移動率の仮定値をゼロとして、合計特殊出生率を社人研仮定の高位に設定
(C) 純移動率縮小 出生中位	パターン1の純移動率を2025年、2030年は転出超過の年齢階級を0.8倍、2030年以降は0.5倍に縮小し、合計特殊出生率を社人研仮定の中位に設定
(D) 純移動率縮小 出生高位	パターン1の純移動率を2025年、2030年は転出超過の年齢階級を0.8倍、2030年以降は0.5倍に縮小し、合計特殊出生率を社人研仮定の高位に設定

【推計結果】

A～Dの4パターンの推計結果は、令和32(2050)年時点の人口が社人研推計に準拠するパターン1よりも200人以上多い結果となった。

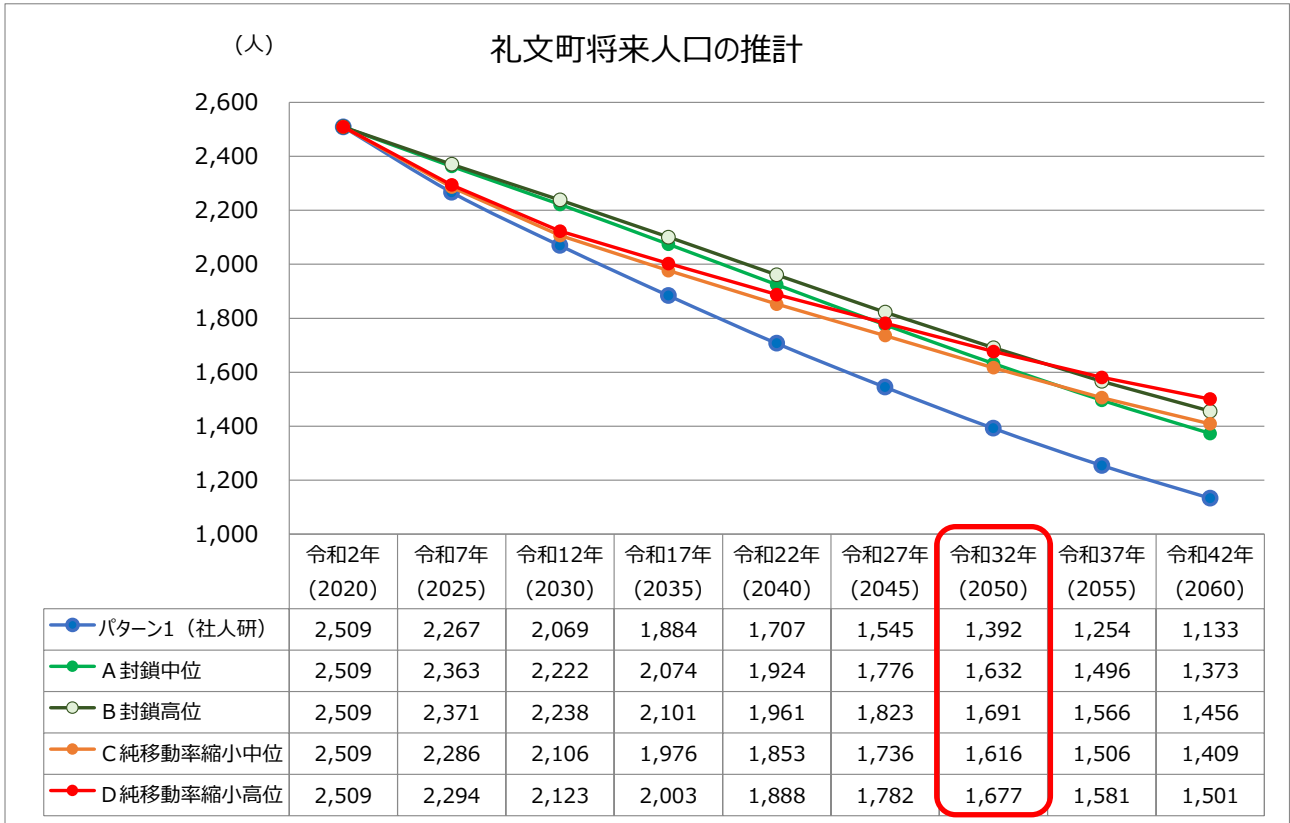


図 礼文町将来人口のパターン別の推計結果

出生に関する仮定値(合計特殊出生率)において、社人研の仮定値の高位と中位との違いは、令和2(2020)年から40年後の令和42(2060)年の推計人口において約100人程度の差が生じた。

また、社人研推計に準拠したパターン1の合計特殊出生率の仮定値とパターンBとパターンDの高位の仮定値はほぼ近い数値であるが、令和32(2050)年、令和42(2060)年の推計値は200人以上異なる結果となり、社会増減がゼロ(移動率の仮定をゼロとした封鎖人口)、または純移動率減少(転出超過の緩和)条件が将来人口を大きく増やす結果となり、転出減少、転入増加による社会増の施策が必要であることが示された。

5つのパターンの推計結果の年齢区分の状況を次ページに示した。

令和32(2050)年以降では、封鎖人口の推計(パターンA、B)では65歳以上の人口比率が増加し15～64歳人口比率が減少した。純移動率縮小の推計(パターンC、D)は封鎖人口とは逆の傾向にあった。14歳未満の人口比率は、どのパターンにも大きな変化は見られなかった。

20～39歳の女性人口(若年女性人口)の減少率は、令和42(2060)年において合計特殊出生率中位のAパターンはパターン1とともに50%を超えた。自然増を促すためには若年女性人口の増加が重要とされている。

礼文町は、女性の15～19歳→20～24歳、20～24歳→25歳～29歳の期間に純移動率がプラスとなり転入超過となっている。これらの女性が転出せず礼文町に定着していくための施策が必要となる。

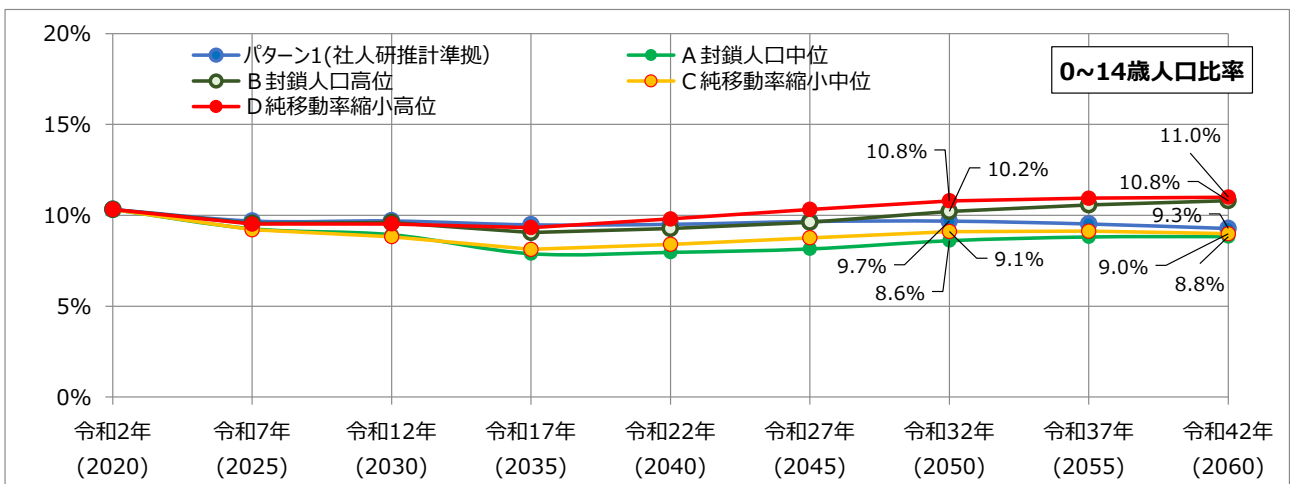
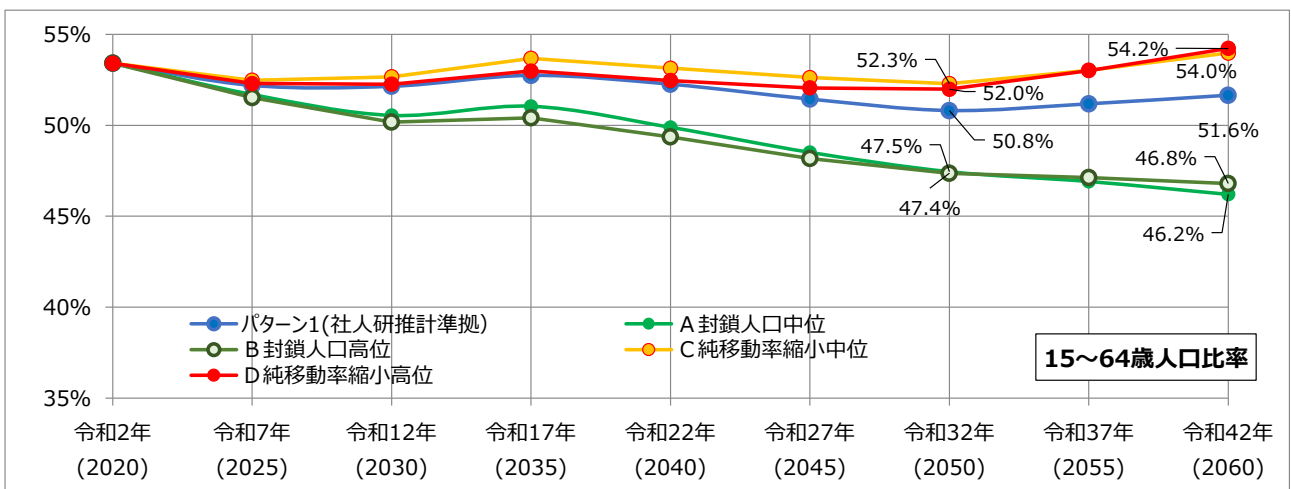
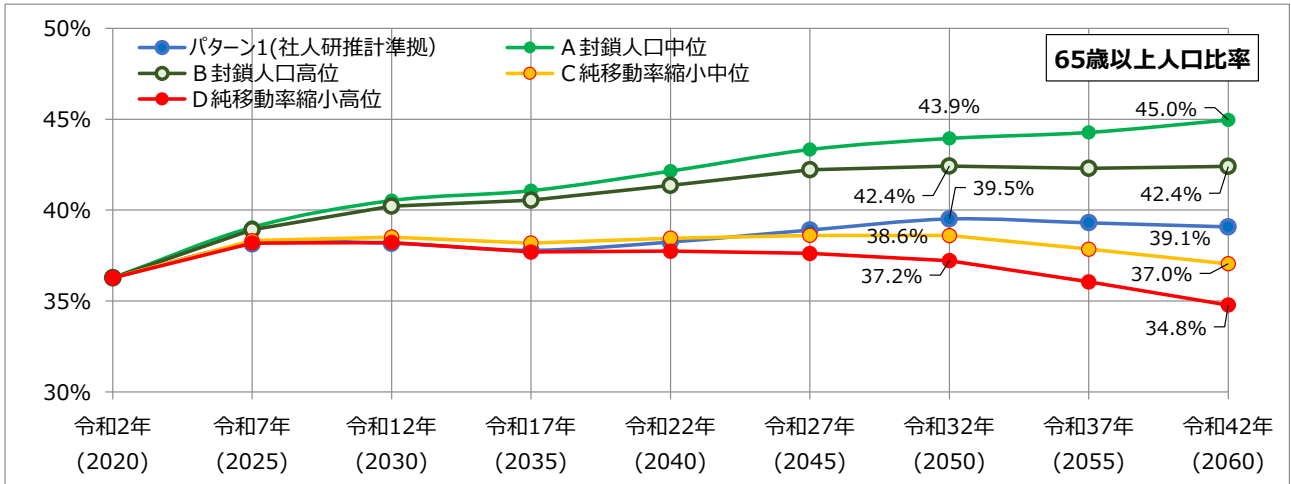


図 礼文町将来人口推計における年齢3区分構成比

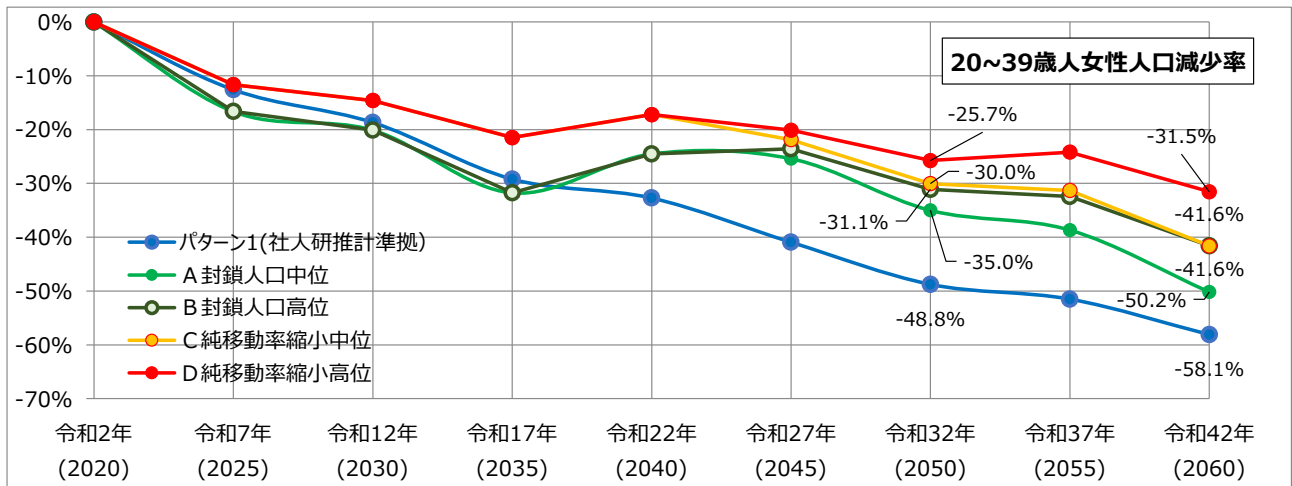


図 礼文町将来人口推計における若年女性人口減少率

表 社人研推計に準拠した移動に関する仮定値：純移動率（パターン1の仮定値）

男	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年	2040年→ 2045年	2045年→ 2050年	2050年→ 2055年	2055年→ 2060年	2060年→ 2065年	2065年→ 2070年
0~4歳→5~9歳	-0.11549	-0.11112	-0.11210	-0.11228	-0.11238	-0.11161	-0.11161	-0.11161	-0.11161	-0.11161
5~9歳→10~14歳	-0.00952	-0.00619	-0.00531	-0.00654	-0.00707	-0.00742	-0.00742	-0.00742	-0.00742	-0.00742
10~14歳→15~19歳	-0.35071	-0.35004	-0.35117	-0.35146	-0.35344	-0.35466	-0.35466	-0.35466	-0.35466	-0.35466
15~19歳→20~24歳	0.07882	0.13828	0.18962	0.20463	0.19986	0.18291	0.18291	0.18291	0.18291	0.18291
20~24歳→25~29歳	0.52975	0.42066	0.48964	0.53627	0.52737	0.52503	0.52503	0.52503	0.52503	0.52503
25~29歳→30~34歳	0.00225	-0.00900	-0.00523	-0.00660	-0.00716	-0.01193	-0.01193	-0.01193	-0.01193	-0.01193
30~34歳→35~39歳	-0.13980	-0.14550	-0.15025	-0.14766	-0.14821	-0.14861	-0.14861	-0.14861	-0.14861	-0.14861
35~39歳→40~44歳	0.08272	0.12171	0.11735	0.10857	0.11354	0.11323	0.11323	0.11323	0.11323	0.11323
40~44歳→45~49歳	-0.03007	-0.02919	-0.03391	-0.03777	-0.04411	-0.04021	-0.04021	-0.04021	-0.04021	-0.04021
45~49歳→50~54歳	-0.02069	-0.00243	-0.01485	-0.00843	-0.01215	-0.01845	-0.01845	-0.01845	-0.01845	-0.01845
50~54歳→55~59歳	0.04637	0.04328	0.04583	0.04568	0.04365	0.04285	0.04285	0.04285	0.04285	0.04285
55~59歳→60~64歳	-0.06763	-0.07037	-0.07009	-0.06957	-0.06942	-0.06998	-0.06998	-0.06998	-0.06998	-0.06998
60~64歳→65~69歳	-0.04001	-0.04115	-0.04109	-0.04117	-0.04096	-0.04080	-0.04080	-0.04080	-0.04080	-0.04080
65~69歳→70~74歳	-0.04254	-0.04107	-0.03889	-0.03894	-0.03928	-0.03914	-0.03914	-0.03914	-0.03914	-0.03914
70~74歳→75~79歳	-0.03835	-0.04117	-0.03996	-0.03808	-0.03829	-0.03877	-0.03877	-0.03877	-0.03877	-0.03877
75~79歳→80~84歳	-0.04267	-0.04458	-0.04568	-0.04601	-0.04631	-0.04662	-0.04662	-0.04662	-0.04662	-0.04662
80~84歳→85~89歳	-0.02332	-0.02531	-0.02392	-0.02591	-0.02592	-0.02600	-0.02600	-0.02600	-0.02600	-0.02600
85~89歳→90~94歳	-0.04819	-0.05598	-0.05780	-0.05950	-0.06108	-0.06256	-0.06256	-0.06256	-0.06256	-0.06256
90歳～→95歳～	-0.03131	-0.03724	-0.03820	-0.03953	-0.04136	-0.04053	-0.04053	-0.04053	-0.04053	-0.04053
女	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年	2040年→ 2045年	2045年→ 2050年	2050年→ 2055年	2055年→ 2060年	2060年→ 2065年	2065年→ 2070年
0~4歳→5~9歳	-0.10971	-0.08305	-0.07351	-0.05893	-0.04788	-0.04684	-0.04684	-0.04684	-0.04684	-0.04684
5~9歳→10~14歳	-0.07104	-0.07471	-0.06691	-0.06811	-0.06866	-0.06903	-0.06903	-0.06903	-0.06903	-0.06903
10~14歳→15~19歳	-0.45616	-0.44432	-0.45471	-0.44661	-0.44775	-0.44912	-0.44912	-0.44912	-0.44912	-0.44912
15~19歳→20~24歳	0.28975	0.34141	0.35313	0.35567	0.34350	0.32086	0.32086	0.32086	0.32086	0.32086
20~24歳→25~29歳	0.29241	0.29255	0.28729	0.29371	0.29109	0.28311	0.28311	0.28311	0.28311	0.28311
25~29歳→30~34歳	-0.08107	-0.09682	-0.09166	-0.09379	-0.09002	-0.09139	-0.09139	-0.09139	-0.09139	-0.09139
30~34歳→35~39歳	-0.09510	-0.10019	-0.07913	-0.08472	-0.07696	-0.07402	-0.07402	-0.07402	-0.07402	-0.07402
35~39歳→40~44歳	-0.08552	-0.09019	-0.09252	-0.09837	-0.09592	-0.09656	-0.09656	-0.09656	-0.09656	-0.09656
40~44歳→45~49歳	-0.05022	-0.04787	-0.02845	-0.03020	-0.01988	-0.02071	-0.02071	-0.02071	-0.02071	-0.02071
45~49歳→50~54歳	-0.02275	-0.02376	-0.02410	-0.02594	-0.02770	-0.03186	-0.03186	-0.03186	-0.03186	-0.03186
50~54歳→55~59歳	0.00258	0.00007	0.00110	0.00095	0.00034	0.00012	0.00012	0.00012	0.00012	0.00012
55~59歳→60~64歳	-0.05472	-0.05567	-0.05578	-0.05561	-0.05564	-0.05577	-0.05577	-0.05577	-0.05577	-0.05577
60~64歳→65~69歳	-0.01417	-0.01552	-0.01574	-0.01601	-0.01551	-0.01549	-0.01549	-0.01549	-0.01549	-0.01549
65~69歳→70~74歳	-0.08247	-0.08344	-0.08335	-0.08357	-0.08376	-0.08383	-0.08383	-0.08383	-0.08383	-0.08383
70~74歳→75~79歳	-0.04731	-0.04778	-0.04803	-0.04826	-0.04847	-0.04866	-0.04866	-0.04866	-0.04866	-0.04866
75~79歳→80~84歳	-0.09573	-0.09865	-0.09932	-0.09991	-0.10042	-0.10087	-0.10087	-0.10087	-0.10087	-0.10087
80~84歳→85~89歳	-0.11870	-0.12056	-0.12096	-0.12317	-0.12442	-0.12546	-0.12546	-0.12546	-0.12546	-0.12546
85~89歳→90~94歳	-0.04293	-0.04505	-0.04767	-0.04144	-0.04833	-0.04786	-0.04786	-0.04786	-0.04786	-0.04786
90歳～→95歳～	-0.03918	-0.03256	-0.03314	-0.03427	-0.03570	-0.03470	-0.03470	-0.03470	-0.03470	-0.03470

2. 礼文町の人口の将来展望

2-1. 将来展望の基礎となる地域住民の意向

『人口減少対策に関するアンケート調査』の結果から、礼文町の地域住民の意向を以下に整理した。

■ 礼文町への居住意向

- アンケート結果では、礼文町出身の有無や居住年数に関係なく、約半数が「いずれは町外に住みたい」と回答していた。その理由として、医療・福祉のサービスの不足、道路交通機関の不便さがあげられていた。9年前にアンケート結果と比較すると、老後の不安の回答比率が高くなり半数を超えていた。
- 医療、交通といった生活の基本インフラへの不安や不満が「いずれは町外に住みたい」回答に結びついていると考えられ、生活基盤の医療、交通の施策を重点的に行いつつ、町民の「町に住み続けたい」という気持ちを醸成することが必要となっている。

■ 子育て環境

- 礼文町は「子育てしにくい」との否定的な回答が肯定的な回答を上回り、半数を超えていた。その理由として、「子どもが遊ぶ場所がない」が7割を占め、「預ける施設が整っていない」の約5割よりも多かった。育児に関する施策についても「公園など子どもの遊び場の充実」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」の回答がそれぞれ1番目、2番目に多かった。
- 子どもと楽しく過ごす場が求められているが、その不足が子育て環境の不満につながっていると考えられる。ハード面だけでなく楽しむ機会の創出等、ソフト面で楽しむ場を補っていく施策も求められる。

■ 町外からの定住の障害

- 町外の方が定住するための障害として「住居の確保」を8割の方が回答していた。9年前のアンケートでは「働く場所の確保」が8割、「住居の確保」が6割の回答だったが、今回は逆転し「働く場所の確保」が6割の回答となっていた。
- 働くためにも、まずは住居が必要であり、町外からの定住者を増やすためにもまず居住環境の確保が早急に必要である。

■ 優先すべき施策

- 優先すべき施策として「交通機関の充実」「地域医療の充実」が7割を超える回答があり、次いで「居住環境の整備」「水産業の振興」「防災対策の充実」が5割を超えていた。

■ 自由記述の意見

- 「住居の確保」についての意見の記述が最も多く、早急の対策が必要と思われた。「仕事の確保、求人」「保育、子育て」「交通、空港」「医療」「店舗」「観光」等の意見が記載されていた。これらは町民の関心の高さを示す項目であり、これらへの対応の優先順位を付ける等により対応していくことが求められる。町民の満足度を高めつつ、「礼文町に住み続けたい」気持ちを育くむための施策も必要である。

2-2. 目指すべき将来の方向

礼文町を取り巻く人口減少・少子高齢化への対応には、礼文町の地域特性をふまえながら出生率の向上及び転出者を減らして転入者を増やす方策とともに人口構造の若返りを図ることが求められる。一方で、対策による効果の発現には時間を要し、人口減少は継続するものと見込まれることから、人口減少の継続を見込んだ社会システムの再構築を視野に入れた取り組みも必要となる。これらをふまえ、礼文町における目指すべき将来の方向は以下のように整理される。

■人口流出に歯止めをかける

- 今現在礼文町で暮らしている町民が今後も住みたいと思えるように、医療、交通、居住環境等の生活インフラの整備をすすめるとともに、水産業や観光業の振興を図る。特に、交通と医療の充足が重要となる。

■町外の方の定住、受入れ環境づくり

- 20代の女性の転入が他の年代よりも多い。町外へ出て戻って来るUターンの方々を受入れる職や居住環境を整え、次世代を担う町民を確保していく。

■育児、子育てを楽しめる環境づくり

- 子どもの預かりや育児支援の仕組みづくりや制度整備のほか、子ども連れが楽しめる機会や場を創出し、安心して楽しみながら子育てができる環境を整える。

■関係人口の創出、増大

- 医療、交通等のインフラ整備は時間をかけての取り組みになるが、礼文島の優れた自然環境や水産資源を町外に発信し販売することにより、まずは関係人口を増やし、その結果、島へ来てもらうことで交流人口を増やす。交通機関は、交流人口を増やしていくためにも重要であり、フェリーの利便性向上を図るとともに、空港再開による札幌乗入れ等の検討を進める。

■多様性に対応した柔軟な受入れ

- 全国的に人口減少の局面に入り、外国人定住者の増加、人手不足対策としての通信機器導入の拡充の進展が想定される。国籍、職業、年齢、性別に関わらず、多様な人々を受入れつつ、だれもが居場所と役割をもって活躍できる地域社会を実現し、人口減少を抑制する。

上記の方向性を基に、人口の自然減と社会減、双方への対策を進めていく。

2-3. 人口の将来展望

礼文町の将来人口については、合計特殊出生率を全国レベル(社人研の仮定値)と同程度として2050年1.62、2060年1.63と設定し、純移動率については、2025年、2030年の転出超過を0.8倍縮小し、2035年以降は転出超過を0.5倍縮小して設定する。

表 将来展望人口の設定条件

	年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
出生に関する 仮定値： 合計特殊出生率 ※2020年は実績値	社人研 2023 (パターン1)	-	1.54	1.58	1.62	1.63	1.64	1.64	1.64	1.64
	礼文町 2024	1.34	1.44	1.53	1.59	1.61	1.61	1.62	1.62	1.63
移動に関する 仮定値： 純移動率の設定	礼文町 2024 純移動率 縮小	パターン1の純移動率を、2025年、2030年は転出超過の年齢階級を0.8倍縮小し、2035年以降は0.5倍縮小して推計。								

表 純移動率

男	2020年→	2025年→	2030年→	2035年→	2040年→	2045年→	2050年→	2055年→	2060年→	2065年→
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
0~4歳→5~9歳	-0.09239	-0.08890	-0.05605	-0.05614	-0.05619	-0.05581	-0.05581	-0.05581	-0.05581	-0.05581
5~9歳→10~14歳	-0.00762	-0.00495	-0.00266	-0.00327	-0.00354	-0.00371	-0.00371	-0.00371	-0.00371	-0.00371
10~14歳→15~19歳	-0.28057	-0.28003	-0.17559	-0.17573	-0.17672	-0.17733	-0.17733	-0.17733	-0.17733	-0.17733
15~19歳→20~24歳	0.07882	0.13828	0.18962	0.20463	0.19986	0.18291	0.18291	0.18291	0.18291	0.18291
20~24歳→25~29歳	0.52975	0.42066	0.48964	0.53627	0.52737	0.52503	0.52503	0.52503	0.52503	0.52503
25~29歳→30~34歳	0.00225	-0.00720	-0.00262	-0.00330	-0.00358	-0.00597	-0.00597	-0.00597	-0.00597	-0.00597
30~34歳→35~39歳	-0.11184	-0.11640	-0.07513	-0.07383	-0.07411	-0.07431	-0.07431	-0.07431	-0.07431	-0.07431
35~39歳→40~44歳	0.08272	0.12171	0.11735	0.10857	0.11354	0.11323	0.11323	0.11323	0.11323	0.11323
40~44歳→45~49歳	-0.02406	-0.02335	-0.01696	-0.01889	-0.02206	-0.02011	-0.02011	-0.02011	-0.02011	-0.02011
45~49歳→50~54歳	-0.01655	-0.00194	-0.00743	-0.00422	-0.00608	-0.00923	-0.00923	-0.00923	-0.00923	-0.00923
50~54歳→55~59歳	0.04637	0.04328	0.04583	0.04568	0.04365	0.04285	0.04285	0.04285	0.04285	0.04285
55~59歳→60~64歳	-0.05410	-0.05630	-0.03505	-0.03479	-0.03471	-0.03499	-0.03499	-0.03499	-0.03499	-0.03499
60~64歳→65~69歳	-0.03201	-0.03292	-0.02055	-0.02059	-0.02048	-0.02040	-0.02040	-0.02040	-0.02040	-0.02040
65~69歳→70~74歳	-0.03403	-0.03286	-0.01945	-0.01947	-0.01964	-0.01957	-0.01957	-0.01957	-0.01957	-0.01957
70~74歳→75~79歳	-0.03068	-0.03294	-0.01998	-0.01904	-0.01915	-0.01939	-0.01939	-0.01939	-0.01939	-0.01939
75~79歳→80~84歳	-0.03414	-0.03566	-0.02284	-0.02301	-0.02316	-0.02331	-0.02331	-0.02331	-0.02331	-0.02331
80~84歳→85~89歳	-0.01866	-0.02025	-0.01196	-0.01296	-0.01296	-0.01300	-0.01300	-0.01300	-0.01300	-0.01300
85~89歳→90~94歳	-0.03855	-0.04478	-0.02890	-0.02975	-0.03054	-0.03128	-0.03128	-0.03128	-0.03128	-0.03128
90歳→95歳	-0.02505	-0.02979	-0.01910	-0.01977	-0.02068	-0.02027	-0.02027	-0.02027	-0.02027	-0.02027
	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
女	2020年→	2025年→	2030年→	2035年→	2040年→	2045年→	2050年→	2055年→	2060年→	2065年→
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
0~4歳→5~9歳	-0.08777	-0.06644	-0.03676	-0.02947	-0.02394	-0.02342	-0.02342	-0.02342	-0.02342	-0.02342
5~9歳→10~14歳	-0.05683	-0.05977	-0.03346	-0.03406	-0.03433	-0.03452	-0.03452	-0.03452	-0.03452	-0.03452
10~14歳→15~19歳	-0.36493	-0.35546	-0.22736	-0.22331	-0.22388	-0.22456	-0.22456	-0.22456	-0.22456	-0.22456
15~19歳→20~24歳	0.28975	0.34141	0.35313	0.35567	0.34350	0.32086	0.32086	0.32086	0.32086	0.32086
20~24歳→25~29歳	0.29241	0.29255	0.28729	0.29371	0.29109	0.28311	0.28311	0.28311	0.28311	0.28311
25~29歳→30~34歳	-0.06486	-0.07746	-0.04583	-0.04690	-0.04501	-0.04570	-0.04570	-0.04570	-0.04570	-0.04570
30~34歳→35~39歳	-0.07608	-0.08015	-0.03957	-0.04236	-0.03848	-0.03701	-0.03701	-0.03701	-0.03701	-0.03701
35~39歳→40~44歳	-0.06842	-0.07215	-0.04626	-0.04919	-0.04796	-0.04828	-0.04828	-0.04828	-0.04828	-0.04828
40~44歳→45~49歳	-0.04018	-0.03830	-0.01423	-0.01510	-0.00994	-0.01036	-0.01036	-0.01036	-0.01036	-0.01036
45~49歳→50~54歳	-0.01820	-0.01901	-0.01205	-0.01297	-0.01385	-0.01593	-0.01593	-0.01593	-0.01593	-0.01593
50~54歳→55~59歳	0.00258	0.00007	0.00110	0.00095	0.00034	0.00012	0.00012	0.00012	0.00012	0.00012
55~59歳→60~64歳	-0.04378	-0.04454	-0.02789	-0.02781	-0.02782	-0.02789	-0.02789	-0.02789	-0.02789	-0.02789
60~64歳→65~69歳	-0.01134	-0.01242	-0.00787	-0.00801	-0.00776	-0.00775	-0.00775	-0.00775	-0.00775	-0.00775
65~69歳→70~74歳	-0.06598	-0.06675	-0.04168	-0.04179	-0.04188	-0.04192	-0.04192	-0.04192	-0.04192	-0.04192
70~74歳→75~79歳	-0.03785	-0.03822	-0.02402	-0.02413	-0.02424	-0.02433	-0.02433	-0.02433	-0.02433	-0.02433
75~79歳→80~84歳	-0.07658	-0.07892	-0.04966	-0.04996	-0.05021	-0.05044	-0.05044	-0.05044	-0.05044	-0.05044
80~84歳→85~89歳	-0.09496	-0.09645	-0.06048	-0.06159	-0.06221	-0.06273	-0.06273	-0.06273	-0.06273	-0.06273
85~89歳→90~94歳	-0.03434	-0.03604	-0.02384	-0.02072	-0.02417	-0.02393	-0.02393	-0.02393	-0.02393	-0.02393
90歳→95歳	-0.03134	-0.02605	-0.01657	-0.01714	-0.01785	-0.01735	-0.01735	-0.01735	-0.01735	-0.01735

礼文町の将来展望人口と社人研推計に準拠したパターン1の人口推計を以下に示した。

全国と同レベルに合計特殊出生率が回復し、転出超過を2030年まで2割減少、それ以降は転出超過を5割縮小することにより、2040年1,888人、2050年1,677人となる。

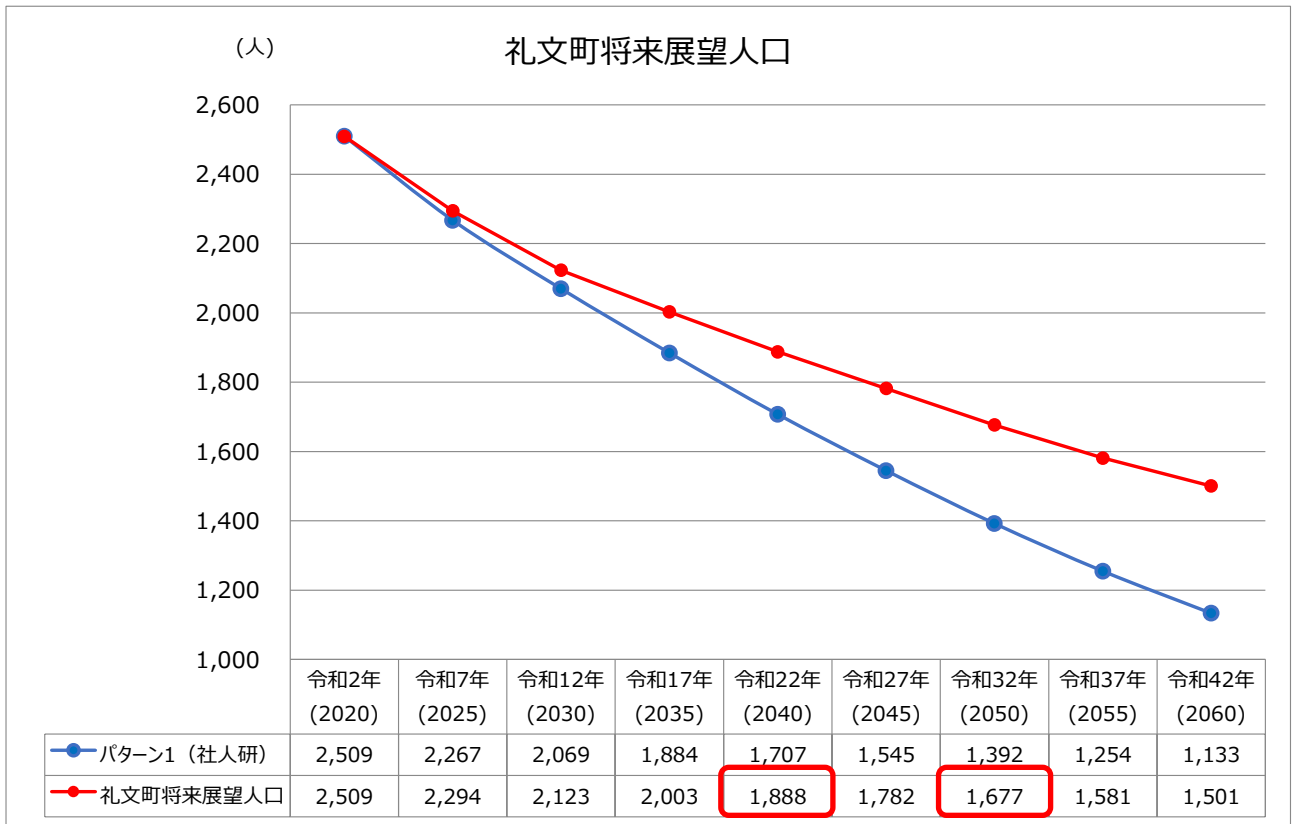


図 礼文町の将来人口